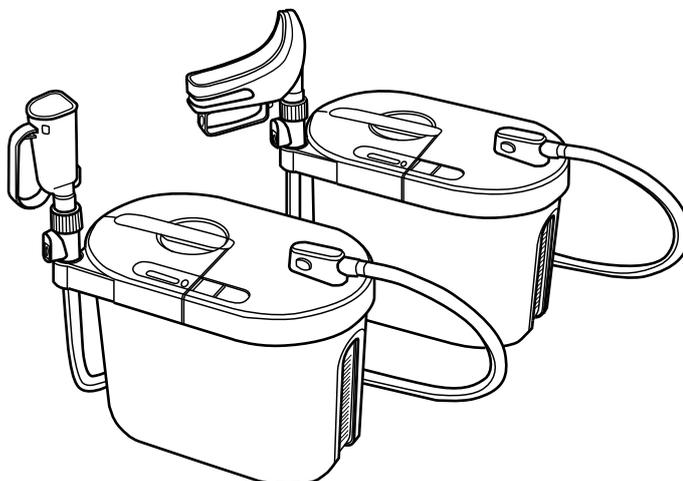


取扱説明書

保証書別添
7F06849200A4

スカットクリーン

男性用セット	KW-65MS
女性用セット	KW-65WS
採尿器本体	KW-65H
男性用レシーバーセット	KW-65MRT
女性用レシーバーセット	KW-65WRT



まえがき

このたびは、スカットクリーンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- スカットクリーンをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- スカットクリーンをお使いになる方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- この製品は日本国内専用です。海外では電源・電圧が異なるため使用できません。

この製品は、尿専用ですので大便には使用しないでください。

もくじ

1 はじめに

1.1.使用対象	3
1.2.使用目的	3
1.3.本器の特長	3

2 各部の名称とはたらき

2.1.採尿器本体KW-65H、KW-65MS(本体)、KW-65WS(本体)	4
2.2.男性用レシーバーKW-65MRT、KW-65MS付属レシーバー(W65MR)	5
2.3.女性用レシーバーKW-65WRT、KW-65WS付属レシーバー(W65WR)	5

3 安全に使用するための注意事項

6~11

4 仕様

12

5 スカットクリーンの搭載機能

5.1.自動採尿機能	13
5.2.吸引スイッチによる採尿機能	14
5.3.各種お知らせ機能	
・尿タンクの満タン通知	15
・尿センサーの汚れ通知	15
・脱臭フィルターの汚れ通知	15

6 使用方法

6.1.ご使用前の準備

・部品の確認	16
・フィルター交換ラベルの貼付	16
・採尿器本体とノズル台の接続	17
・レシーバーの格納	17
・採尿器本体の設置	18

6.2.男性用レシーバーの使いかた

・ご使用前に	19
・ご使用時の姿勢	19
・レシーバーの持ちかた	20
・レシーバーの当てかた	20
・採尿のしかた	21
・各姿勢での操作手順	22~23
・装着した状態で使用する場合	24~25

6.3.女性用レシーバーの使いかた

・ご使用前に	26
・ご使用時の姿勢	26
・レシーバーの持ちかた	26
・レシーバーの当てかた	27
・採尿のしかた	28

・各姿勢での操作手順	29～30
6.4.介助者がレシーバーを当てる場合	
・寝ている方の場合	31
・座っている方の場合	31
7 よりよく使うために	
・はじめに	32
・衣服の工夫例	32
・排尿表の作成	33
・尿臭の予防	33
8 日常のお手入れ	
8.1.お手入れ箇所	34
8.2.尿の捨てかた	35～36
8.3.各部の洗いかた	
・洗浄液の作りかた	37
・尿タンクとタンクふた	37
・レシーバー部	38～40
・ホース	41
・採尿器本体	42
8.4.各部の消毒のしかた	
・消毒液の作りかた	43
・消毒のしかた	43
8.5.脱臭フィルターのお手入れ	
・脱臭フィルターのお手入れ時期の目安	44
・水洗のしかた	44～46
・交換のしかた	46
9 長期保管について	47
10 困ったときは	
10.1.Q&A（よくある質問）	48
10.2.故障かな？と思ったら	49～50
10.3.さくいん	51
10.4.保証とアフターサービス	
・保証書	52
・修理を依頼される時	52～53
・部品の最低保有年数	53
・アフターサービスについて	53
・販売店様へのお願い	53

1 はじめに

1.1.使用対象

■スカットクリーンは、以下のような方を対象とした製品です。

●尿意が分かる方

- ◆自分でレシーバーを当てられる方は自立使用できます。
- ◆自分でレシーバーを当てられない方は、介護者の手助けにより使用できます。

■スカットクリーンは、以下のような方は使用することができません。

●尿が常に出続ける方

- ◆尿が常に出つづける場合は、採尿器本体が長時間作動して故障するおそれがあります。

●尿意の自覚のない方

- ◆尿意の自覚のない場合は、レシーバーを当てる前に尿が排出され、シーツやふとんなどを汚す原因となります。

1.2.使用目的

■スカットクリーンは、排尿の自立を支援することを目的とした福祉用具です。

スカットクリーンを使用することで、トイレではなくても、人手を借りずに自分で排尿することができるように支援します。操作はレシーバーを当てるだけで簡単にでき、また介護する方も、1日1回程度尿を捨てるだけの作業で介護の手間が軽減されます。

おむつ以外で排泄をしたい、トイレに行くが間にあわない、トイレに行くまでに転倒することがあるなどの排泄に関する悩みをかかえている方を支援します。この「取扱説明書」をよくお読みになって、スカットクリーンを効果的に活用してください。

1.3.本器の特長

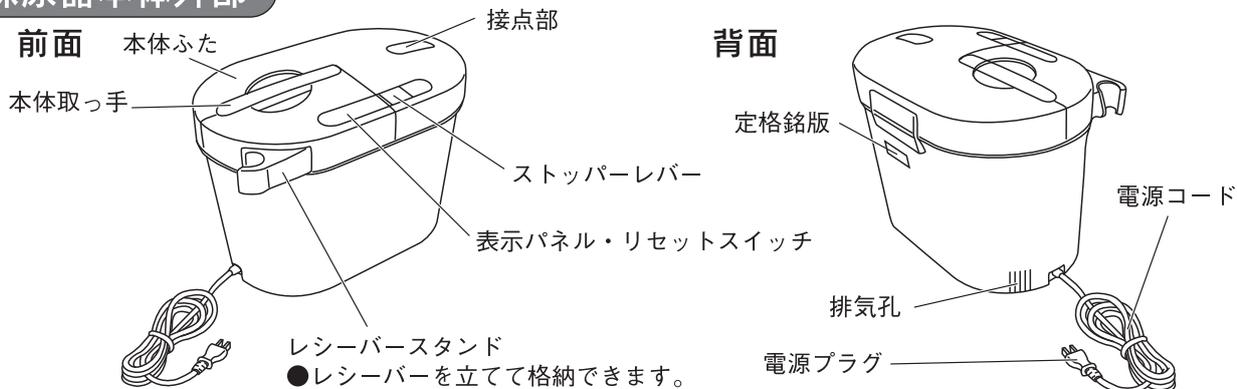
- レシーバーをあてがい、そのまま排尿するだけで採尿ができます。
- 尿が排出されるとセンサーが感知し、モーターが自動的に尿を吸引します。
(モーターはタイマーで自動的に停止します)
- 吸引スイッチによる採尿開始・終了操作をすることができます。
- 寝たままでも、座ったままでも使うことができます。
- ノズル台と採尿器本体との取付け・取外しが簡単に行え、採尿器本体は男性用・女性用の区別なくどなたでも使用できます。(レシーバーには男性用と女性用があります)
- 尿タンクが満タンになると、ランプの点灯とブザー音でお知らせします。
- 尿タンクは取付け・取外しが簡単ですので、尿の処理やタンクの洗浄と消毒が楽に行えます。
- レシーバー部はホースから取外し可能ですので、それぞれを分けて洗浄と消毒が行えます。
- 脱臭フィルターにより、排尿により発生した尿臭を低減することができます。

2 各部の名称とはたらき

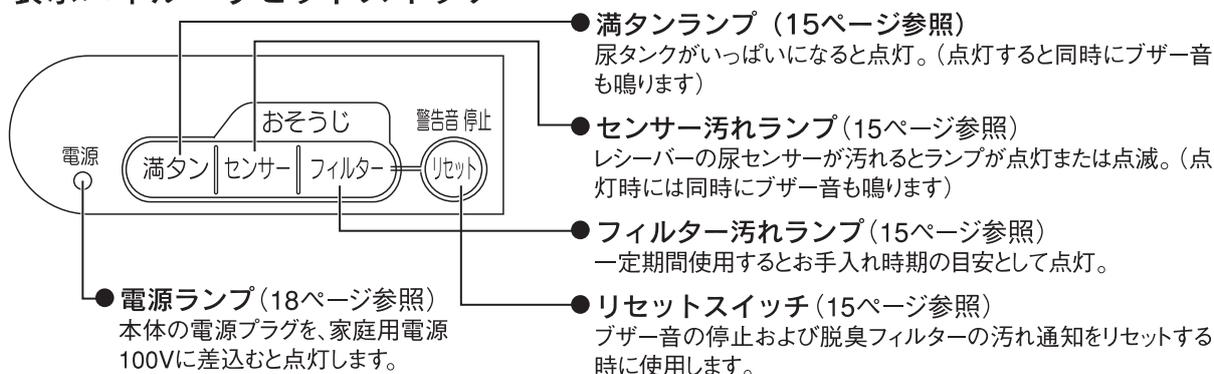
2.1.採尿器本体 KW-65H^{*}、KW-65MS(本体)、KW-65WS(本体)

^{*} KW-65Hは、レーザーセット(KW-65MRTまたはKW-65WRT：別売)とセットでご使用ください。

採尿器本体外部

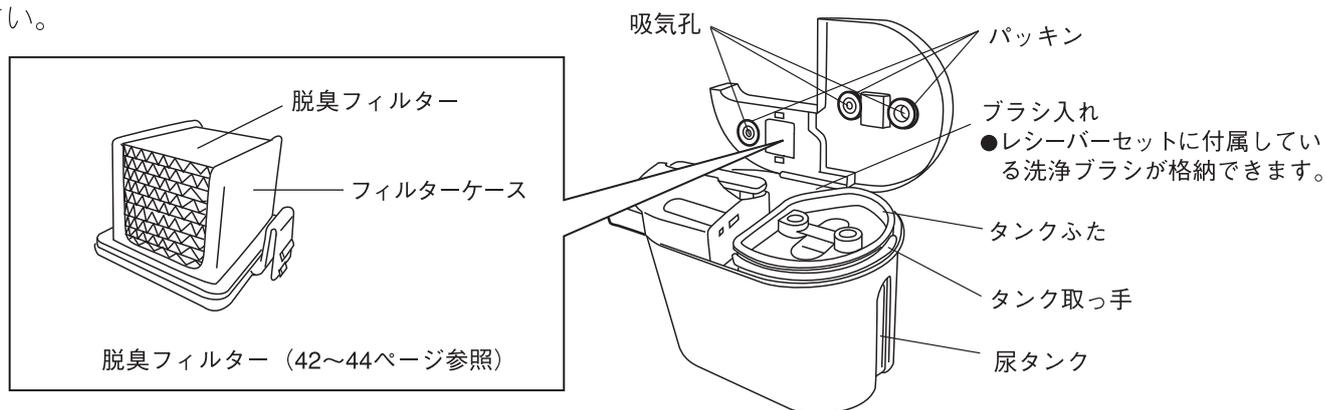


表示パネル・リセットスイッチ

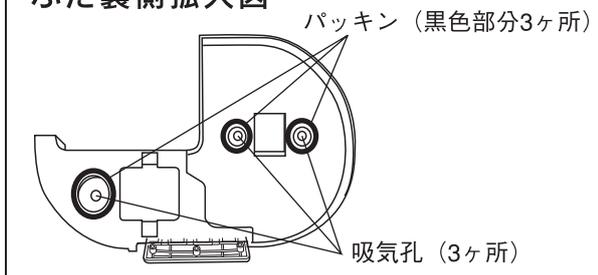


採尿器本体内部

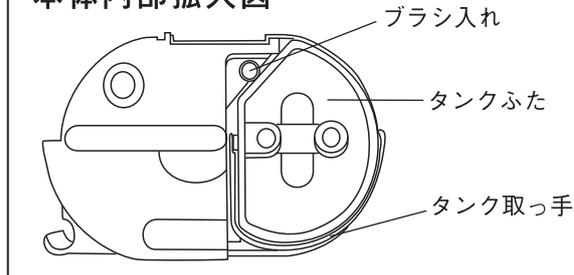
※ KW-65Hには、尿タンク・ブラシ入れが付属されていません。レーザーセット(KW-65MRTまたはKW-65WRT：別売)に付属されている尿タンクとブラシ入れを、ご使用前に図の位置にセットしてください。



ふた裏側拡大図

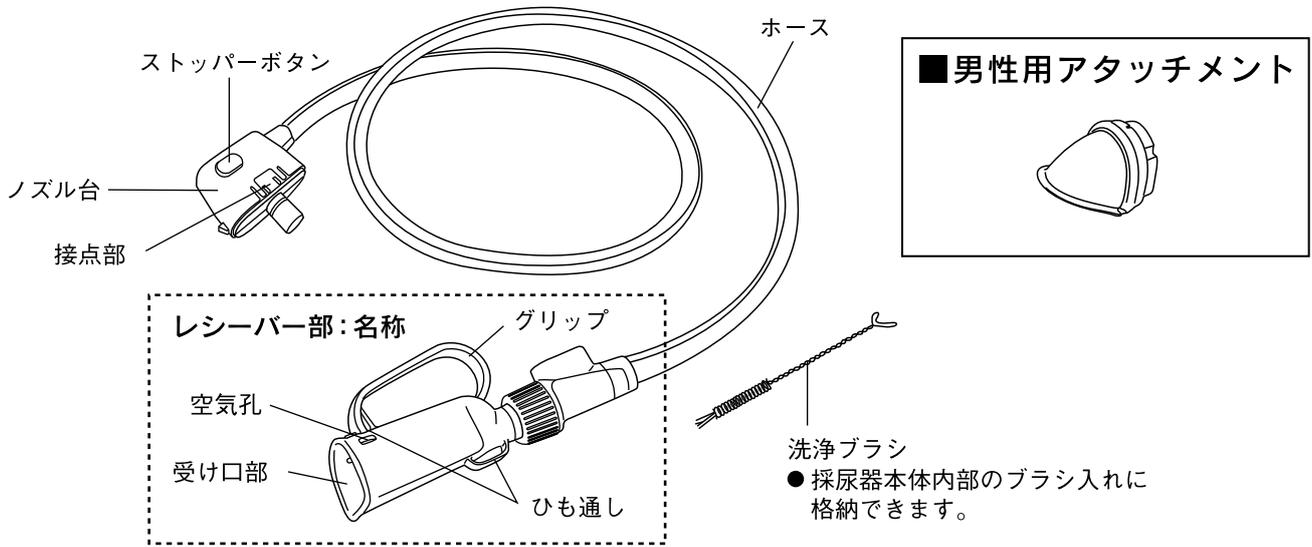


本体内部拡大図

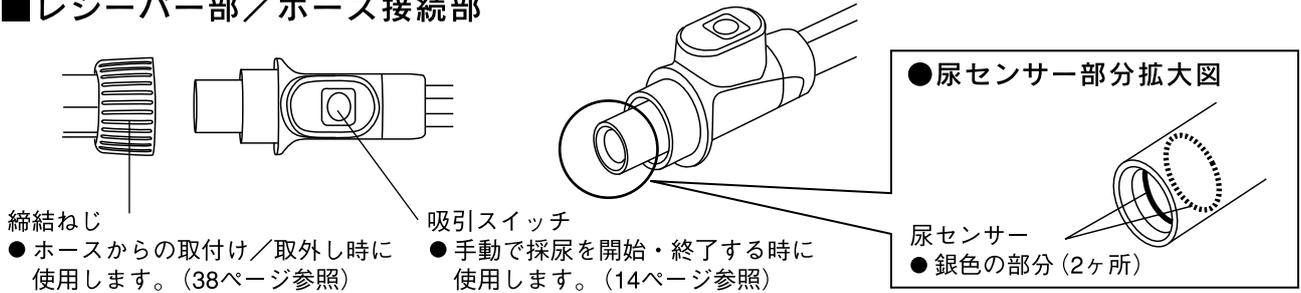


2 各部の名称とはたらき

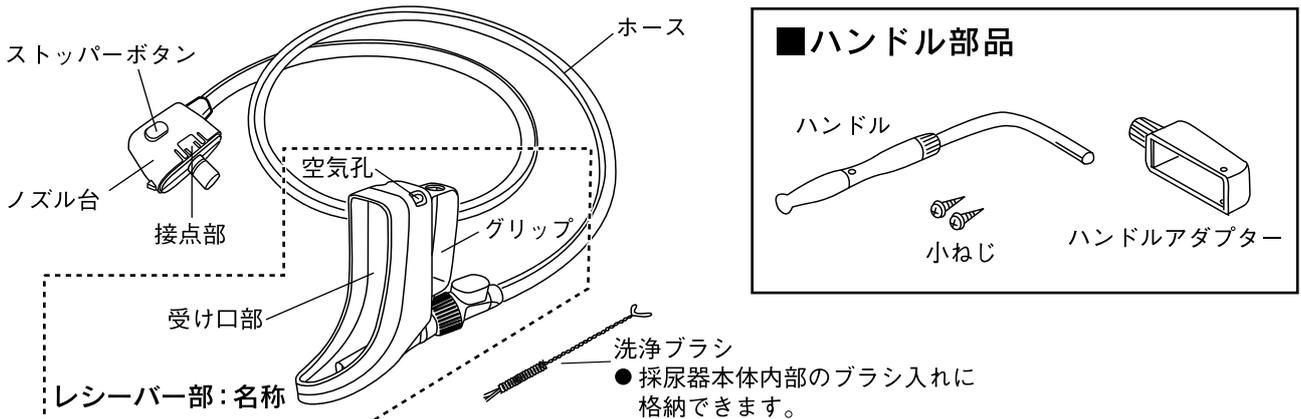
2.2.男性用レシーバー KW-65MRT、KW-65MS付属レシーバー(W65MR)



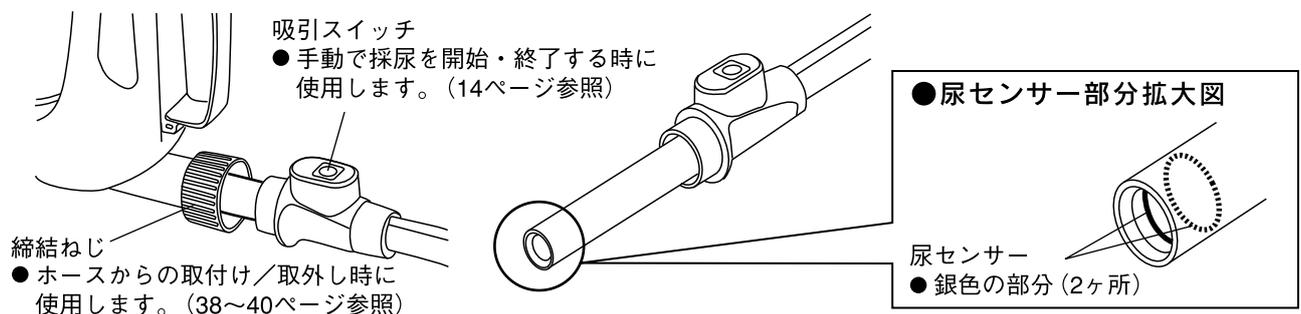
■レシーバー部／ホース接続部



2.3.女性用レシーバー KW-65WRT、KW-65WS付属レシーバー(W65WR)



■レシーバー部／ホース接続部



3 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの『安全に使用するための注意事項』をよくお読みいただき、正しくお使いください。

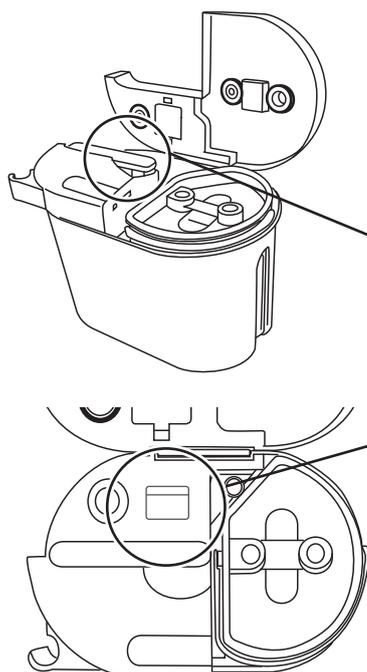
■ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告 けい こく	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺 ^{まひ} など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意 ちゅう い	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

〔安全ラベルについて〕



- 注意事項の中で、スカットクリーンをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにして採尿器本体内部に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。

安全ラベル貼付位置



③ 安全に使用するための注意事項

【使用上の注意事項】



■お客様による修理・改造はしないでください

- 思わぬけがや故障の原因となります。

■電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください

- コンセントから抜く際、電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

- ショートして感電したり、故障するおそれがあります。

■電源プラグにほこりを付着させないでください



- 電源プラグの表面にほこりが付着していると、水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。
- 電源プラグは定期的（半年ごと）に抜いて、ほこりを掃除してください。

■電源コードを傷つけないでください



- 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - 電源コードに重いものを置いたり無理な力を加えないようにしてください。
 - ベッドの可動部に電源コードをはさまないようにしてください。
 - ベッドなどで電源コードを踏みつけしないでください。
- 傷んだ電源コードは修理（交換）を依頼してください。

■タコ足配線は行わないでください

- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

■スカットクリーンの周囲を歩行するときは、電源コードやホース、レシーバー部、レシーバースタンドなどに身体の一部や衣服を引っ掛けないように注意してください

- 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。
- 採尿器本体が転倒して破損したり、尿がこぼれるおそれがあります。

■破損した場合は使用を中止してください

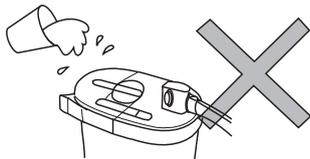
- 思わぬけがや、故障・破損した部位によっては感電・火災のおそれがあります。
- 破損した場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、「保証とアフターサービス」（52～53ページ）を参照して修理をご依頼ください。

警告

■熱器具(ストーブなど)の近くや直射日光の当たる場所では使用しないでください

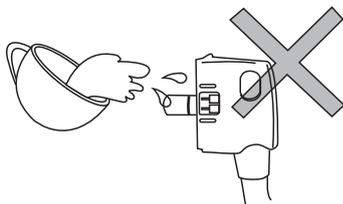
- 変質・変形・発火などの原因となります。

■表示パネル・リセットスイッチに液体をかけないでください



- ショートして感電したり、故障するおそれがあります。

■採尿器本体とレシーバーの接点部に、ほこりや液体がつかないようにしてください



- ショートして感電したり、故障するおそれがあります。
また、排尿していなくてもモーターが作動する場合があります。
- ほこりがついている場合は、拭き取ってから使用してください。
- 液体がついている場合は、乾燥させてから使用してください。

■吸引スイッチの表面が破れた状態では、使用しないでください

- ショートして感電したり、誤作動のおそれがあります。
- 傷んだ場合は修理(交換)を依頼してください。

注意

採尿器本体を設置するときは

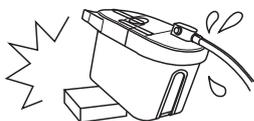
■ベッドの上で使用する場合は、ベッド動作の妨げにならない位置に採尿器本体を設置してください

- ベッドの動作により採尿器本体がベッドにはさまれて破損したり、ベッドが変形するおそれがあります。

■ベッドの上で使用する場合は、ホースの長さが十分確保される位置に採尿器本体を設置してください

- ベッドの動作によりホースが引っ張られ、採尿時の吸引力低下、ホースの破損・変形の原因となります。
また、使用者がレシーバーを操作しにくくなる原因となります。

■採尿器本体を横倒しにしたり、斜めにして使用しないでください



- 尿がこぼれたり、スカットクリーンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

■採尿器本体・レシーバーの上に重いものを載せないでください

- 破損・変形の原因となります。

③ 安全に使用するための注意事項

【使用上の注意事項】



運転させる前に

■フィルターケース、尿タンクを入れたこと、吸気孔にパッキンがついていることを確認して、本体ふたを閉めてください

- 採尿時の吸引力が低下したり、尿がこぼれ出てゆかや周りのものを汚すおそれがあります。

運転させるときは

■採尿器本体を転倒させたときは、すぐに本体ふたを開けたり、そのまま吸引させないでください

- すぐに本体ふたを開けると、尿がこぼれ出てゆかや周りのものを汚すおそれがあります。
- 転倒させたまま吸引すると、尿が逆流して故障するおそれがあります。
- 採尿器本体を転倒させたときは、採尿器本体を持って、ていねいに起こし、採尿器本体をしばらく放置（5分～10分）した後、「尿の捨てかた」（35・36ページ）を参照して尿を捨ててください。また、必要に応じて洗浄・消毒をしてください。
※採尿器本体を起こす際は、レシーバーを持たないでください。ホースが破損・変形するおそれがあります。
- 上記の処置をしてもスカットクリーンが正常に作動しない場合は、「故障かな？と思ったら」（49・50ページ）を参照してください。

■大便には使用しないでください

- 吸引することができず、故障するおそれがあります。この製品は尿専用ですので、大便には使用しないでください。

■尿が常に出続ける方には使用しないでください

- 採尿器本体が長時間作動し、故障するおそれがあります。

■自分でレシーバーがうまく当てられない方は、介助者が操作してください

- レシーバーの当てかたが不十分であったり、正しい当てかたになっていないと、尿が漏れてシーツやふとんなどを汚す原因となります。

■ペニスを勃起させたままレシーバー部の奥まで入れないでください

- 思わぬけがをしたり、レシーバー部／ホース接続部がふさがれ、尿が吸引されなくなるおそれがあります。

■レシーバーの空気孔を衣服や寝具などでふさがないでください

- 採尿器本体のモーターに大きな負荷がかかり、故障するおそれがあります。

注意

■ホースを折り曲げたり、無理に引っ張らないでください

- ホースにくせがついたり、傷ついて正常な使用ができなくなるおそれがあります。

■金属類や異物を入れないでください

- レシーバー部、ホース、尿タンク、吸気孔、排気孔に金属類や異物を入れないでください。故障の原因となります。

■センサー汚れランプが点滅・点灯した場合は、尿センサーを洗浄してください

- センサー汚れランプが点灯した状態では、尿を感知することができず、吸引動作を行いません。そのため、排尿しても吸引せずレシーバーから尿がこぼれ、周りのものを汚すおそれがあります。「各部の洗いかた」(41ページ)の「センサー部／ホース内」を参照して、センサー部を洗浄してください。

■尿や陰部が触れるレシーバー部、ホース、アタッチメントは定期的に洗浄・消毒してください

- 体質や長時間の装着により、かゆみ・かぶれなどが生じるおそれがあります。
- 各部分を定期的に洗浄・消毒したり、ご使用になる方の身体を拭くなど、衛生面に十分ご注意ください。また、肌に合わない場合は、長時間装着した状態での使用はお控えください。

採尿器本体を移動させるときは

■採尿器本体を持ちあげるときは、本体取っ手を持ってください



- 本体ふたを持ちあげたり、レシーバーを持つと、破損・変形の原因となります。また、尿がこぼれるおそれがあります。

■本体ふたを開けた状態で、本体取っ手を持ちあげないでください

- 本体ふたが破損したり、尿がこぼれるおそれがあります。

③ 安全に使用するための注意事項

【お手入れ時の注意事項】



■お手入れの際は電源プラグを抜いて行ってください

- ショートして感電したり、故障するおそれがあります。

■採尿器本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください

- ショートして感電したり、故障するおそれがあります。



■尿タンクやレシーバーを熱湯で洗わないでください

- 変形・故障の原因となります。
- お湯で洗う場合は40℃以下の温度で洗ってください。

■尿タンクやレシーバーを洗うときは、たわしやミガキ粉を使用しないでください

- 傷がつくおそれがあります。

■タンク取っ手を持ちあげた状態で、本体ふたを開閉しないでください

- タンク取っ手の破損・変形の原因となります。

4 仕 様

採尿器本体	品 番	KW-65H、KW-65MS（本体）、KW-65WS（本体）	
	寸 法	全幅約23.3cm×全長約38cm×高さ約27.5cm	
	製 品 質 量	約5.0kg（尿タンクが空のとき）	
	材 質	本 体	ABS樹脂
		尿 タ ン ク	ポリプロピレン
	電 源	AC100V、50/60Hz	
	消 費 電 力	作動時65W	
	電源コード長さ	約2.5m	
	梱 包 寸 法	全幅約31cm×全長約45cm×高さ約35.5cm	

男性用レシーバー	品 番	KW-65MRT、KW-65MS付属レシーバー（W65MR）	
	ホース長さ	約2m	
	製 品 質 量	約0.4kg	
	材 質	レシーバー部	ポリプロピレン
		ノズル台	ABS樹脂
		ホース	塩化ビニル樹脂
		アタッチメント	シリコン
梱 包 寸 法	全幅約30.5cm×全長約43.5cm×高さ約7.5cm		

女性用レシーバー	品 番	KW-65WRT、KW-65WS付属レシーバー（W65WR）	
	ホース長さ	約2m	
	製 品 質 量	約0.5kg（ハンドルを取付けたとき約0.7kg）	
	材 質	レシーバー部	ポリプロピレン、エラストマー
		ノズル台	ABS樹脂
		ホース	塩化ビニル樹脂
ハンドル		ABS樹脂、アルミパイプ	
梱 包 寸 法	全幅約30.5cm×全長約43.5cm×高さ約7.5cm		

5 スカットクリーンの搭載機能

5.1.自動採尿機能

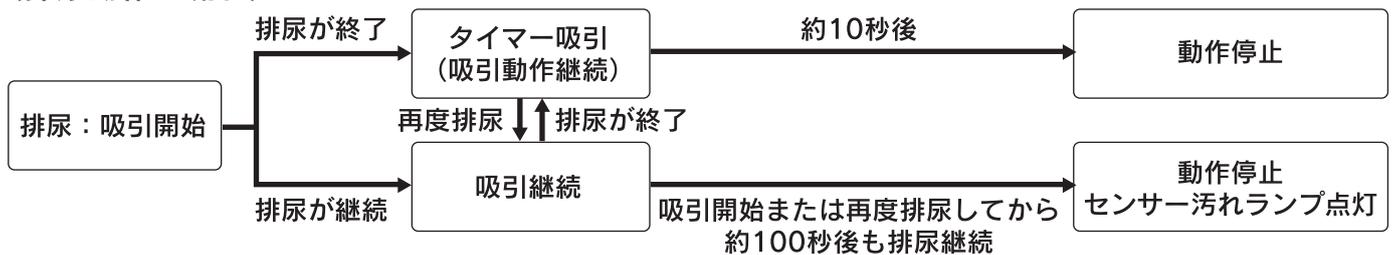
■尿感知吸引

- レシーバーに設けられた尿センサーが尿を感知すると、モーターがファンを作動させ、空気圧で尿を吸引します。

■タイマー吸引

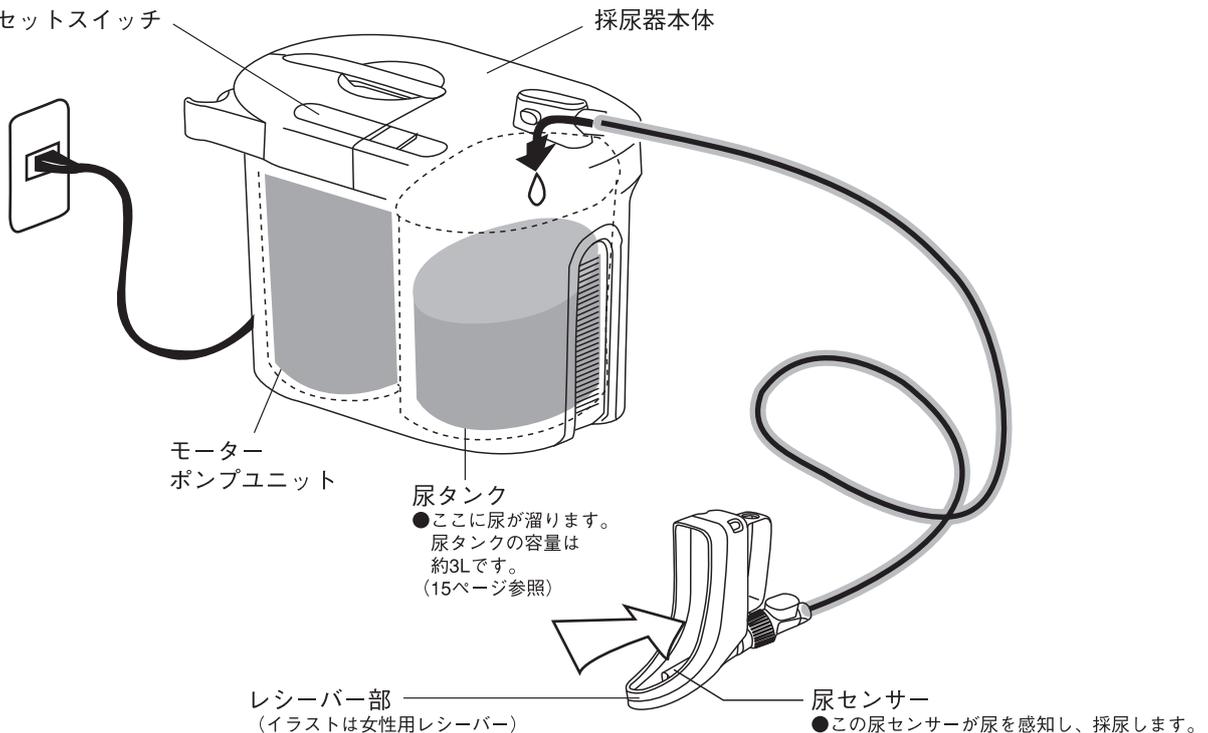
- 尿センサーが尿を感知終了後も、レシーバー部やホース内の残尿を吸いきるため、約10秒間吸引を継続後、モーターを停止します。

〈採尿動作の流れ〉



- 排尿が継続している場合は、約100秒後にセンサー汚れランプが点灯し、モーターを自動的に停止させます。

表示パネル・リセットスイッチ
(4ページ参照)



- 尿の出かたにより、モーターの作動時間が変わります。尿センサーが間欠的に尿を感知すると、吸引開始から約100秒が経過した後もモーターは動き続けます。この場合であっても、採尿器本体を保護するため、吸引開始から約3分後にモーターを自動的に停止させます。
- 尿センサーが尿を感知し続けると、センサー汚れランプが点灯して強制的にモーターを停止させることがあります。センサーの汚れがないか、または尿が常に出続けている方が使用していないかをご確認ください。
- 吸引停止後でも、レシーバー部やホース内に残尿がある場合は、吸引スイッチを押して残尿を吸引してください。

5.2.吸引スイッチによる採尿機能



●吸引スイッチは、連打したり、押し続けないようにしてください。ショートして感電したり、ボタンが故障する原因となります。

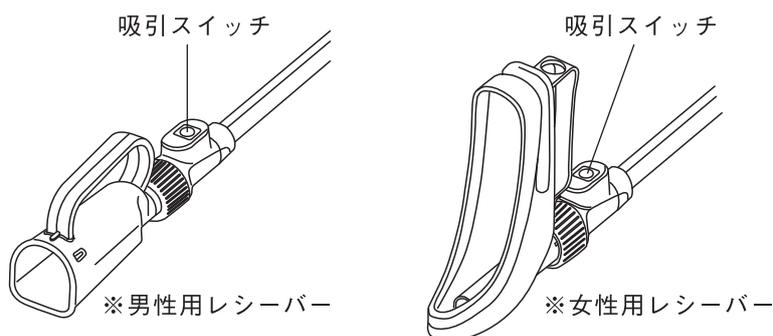
- 吸引スイッチを押すことで、排尿前にあらかじめモーターを作動させ、吸引することができます。また、ボタンを再度押すことで、排尿終了後に吸引を停止することができます。
- 排尿する前にあらかじめ吸引を開始しておきたい場合や、センサー汚れランプが点灯しているときに排尿する場合は、このスイッチを使用してください。
- 使用に慣れていない方、漏れに不安のある方は、吸引スイッチを使用して採尿することをお勧めします。

■吸引開始方法

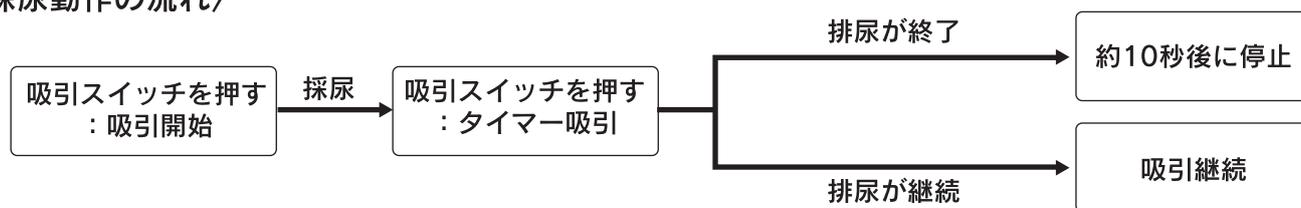
吸引スイッチを1度押すと、自動採尿時と同様にモーターが作動し、吸引を開始します。

■吸引停止方法

排尿終了後に、再度吸引スイッチを1度押すと、レシーバー部やホース内の残尿を吸いきるために、約10秒間吸引を継続（タイマー吸引）後、モーターを停止します。



〈採尿動作の流れ〉



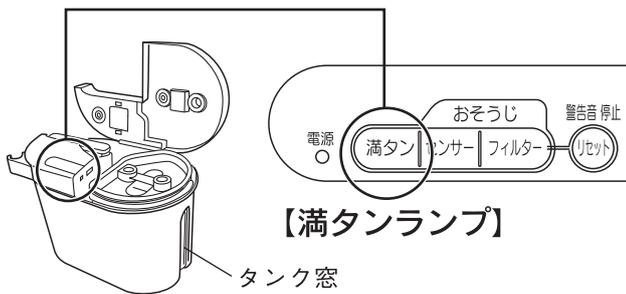
- 尿センサーが尿を感知している間に吸引スイッチを押した場合は、使用者が排尿中であると判断し、モーターを停止しません。
- タイマー吸引中に吸引スイッチを押した場合は、操作が無効となり、約10秒後にモーターが停止します。
- タイマー吸引中に尿を感知した場合は、約10秒後も吸引を継続します。
- 吸引スイッチで吸引を開始後に再度吸引スイッチが押されない場合は、採尿器本体を保護するため、採尿が継続している場合であっても約3分後にモーターを自動的に停止します。
- 吸引停止後でも、レシーバー部やホース内に残尿がある場合は、吸引スイッチを押して残尿を吸引してください。
- 吸引を停止したい場合は、吸引スイッチを押してください。尿センサーが尿を感知している場合を除き、約10秒後に停止します。
- センサー汚れランプが点灯している状態でも緊急で使用したい場合は、吸引スイッチを押して吸引してください。

5 スカットクリーンの搭載機能

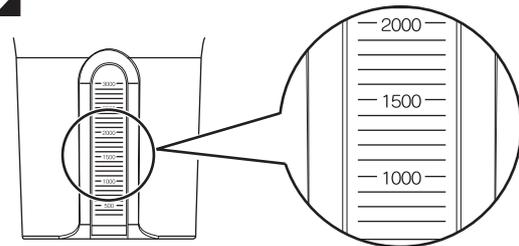
5.3.各種お知らせ機能

尿タンクの満タン通知

- 尿タンクは約3Lの容量があります。尿がタンク窓の 3000の目盛を超えると、ブザー音と満タンランプでお知らせします。そのときは必ず尿を捨ててください。(35・36ページ参照)
- ※ブザー音を途中で停止させたいときは、リセットスイッチを押してください。



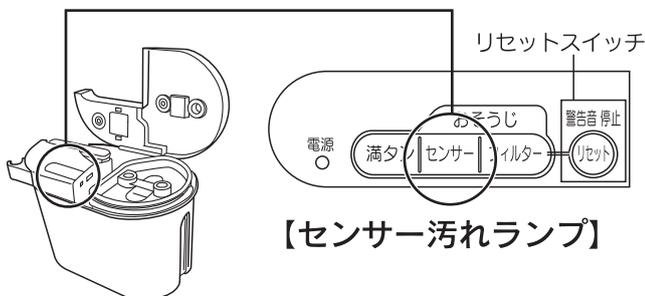
- 尿タンクの見盛り目安としてください。



タンク窓拡大図

尿センサーの汚れ通知

- 尿センサーに汚れが付着しますと、下記のように汚れの状態に応じて、センサー汚れランプでお知らせします。ランプ点灯時には、同時にブザー音も鳴ります。そのときは、必ずセンサー部を洗浄してください。(41ページ参照)
- ※ブザー音を途中で停止させたいときは、リセットスイッチを押してください。



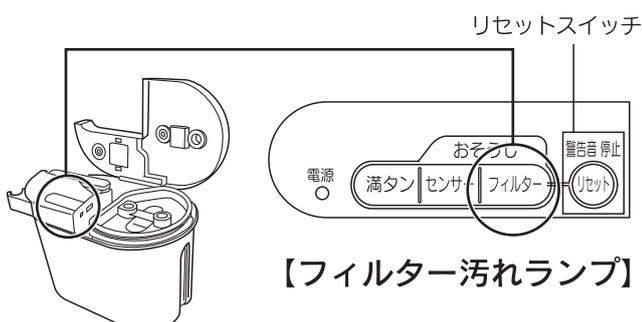
ランプの状態	汚れの状態
点滅 (ブザー音なし)	軽度の汚れ
点灯 (ブザー音あり)	重度の汚れ



- ランプ点灯時には、自動採尿機能は作動しません。必ずセンサー部を洗浄してください。

脱臭フィルターの汚れ通知

- 吸引した時間の合計がおよそ50分に達すると、定期的にフィルター汚れランプでお知らせします。そのときは、フィルターを水洗または交換してください。(44～46ページ参照)
- ※フィルターを水洗または交換したら、リセットスイッチを「ピピッ」という音が鳴るまで、約2秒間押し続けてください。フィルターの汚れ通知のリセットをします。



- 脱臭フィルターを汚れたまま使用すると、脱臭機能が低下します。
- ランプによるお知らせはあくまで目安です。脱臭機能の低下を感じましたら、すぐに水洗・交換をしてください。(44～46ページ参照)
- ランプが消灯した状態で、リセットスイッチを押し続けた場合も、フィルターの汚れ通知がリセットされますのでご注意ください。

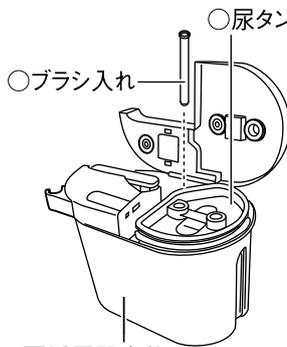
6 使用方法

6.1.ご使用前の準備

部品の確認

部品をご確認ください。

■採尿器本体KW-65H、KW-65MS(本体)、KW-65WS(本体)



- 尿タンク
- ブラシ入れ
- 脱臭フィルター(2個1組) ×1 (44~46ページ参照)
- 取扱説明書(本書) ×1
- クイックマニュアル ×1
- 保証書×1
- フィルター交換ラベル ×2

■採尿器本体

※KW-65Hには尿タンク・ブラシ入れが付属されていません。レーザーセット(KW-65MRTまたはKW-65WRT:別売)に付属されている尿タンクとブラシ入れを、ご使用前に図の位置にセットしてください。(KW-65MS、KW-65WSは出荷時よりセットされています。)

■男性用レーザーセットKW-65MRT、KW-65MS付属レーザー(W65MR)

- ホース
- アタッチメント×1 (24ページ参照)
- フック×1 (17ページ参照)
- 保証書×1
- 尿タンク×1
- ブラシ入れ ×1
- レーザー
- 洗浄ブラシ×1 (37ページ参照)

※KW-65MSの尿タンク・ブラシ入れは、採尿器本体にセットされています。

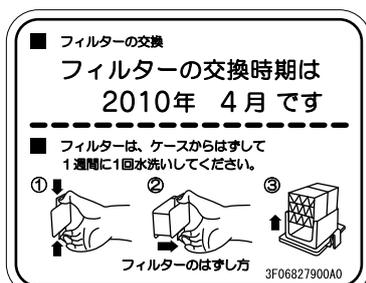
■女性用レーザーセットKW-65WRT、KW-65WS付属レーザー(W65WR)

- ホース
- ハンドル部品×1 (30ページ参照)
- フック×1 (17ページ参照)
- 保証書×1
- 尿タンク×1
- ブラシ入れ ×1
- レーザー
- ハンドル×1
- 小ねじ×2
- ハンドルアダプター×1
- 洗浄ブラシ×1 (37ページ参照)

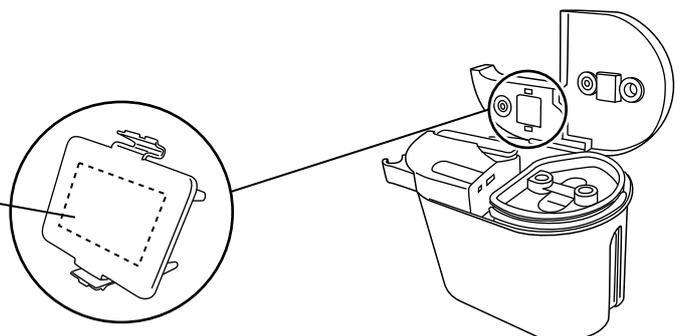
※KW-65WSの尿タンク・ブラシ入れは、採尿器本体にセットされています。

フィルター交換ラベルの貼付

- ①フィルター交換ラベルに使用開始月の3ヶ月後の年月数を記入してください。
- ②フィルターケース底面部にラベルを貼付けてください。



※使用開始年月が2010年1月の時



6 使用方法

6.1.ご使用前の準備



●はじめてご使用になる前には、必ずレシーバー部・ホース・アタッチメントを洗浄および消毒してください。

採尿器本体とノズル台の接続

ノズル台を採尿器本体に接続してください。

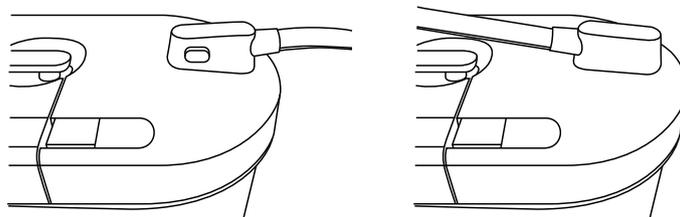
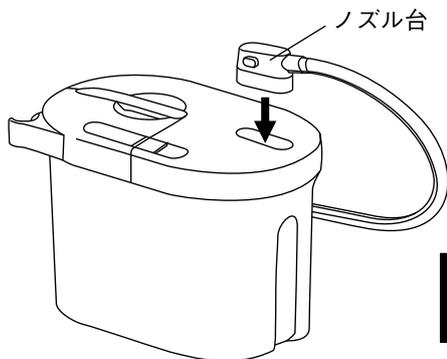


●接続する際は、手をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

- ①ノズル台を接続する前に、採尿器本体の接点部の周辺に異物がないことを確認してください。
- ②レシーバーのホース先端のノズル台を、接点部のガイドにあわせて「カチッ」と音がするまで押し込んでください。ノズル台は以下の2つの方向で接続可能です。

「カチッ」と音がするまで押し込む

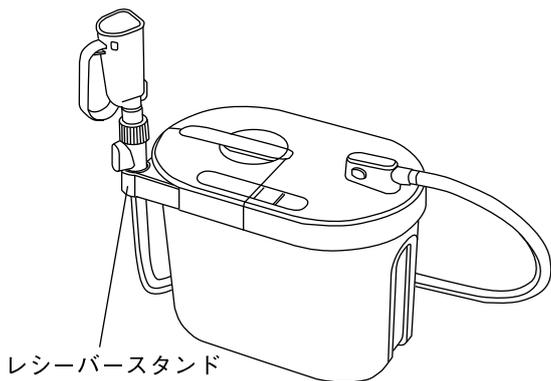
〈ノズル台の接続方向〉



●確実に接続されていることを確認してください。

レシーバーの格納

●レシーバーは採尿器本体のレシーバースタンド、または付属のフックを使用して格納できます。

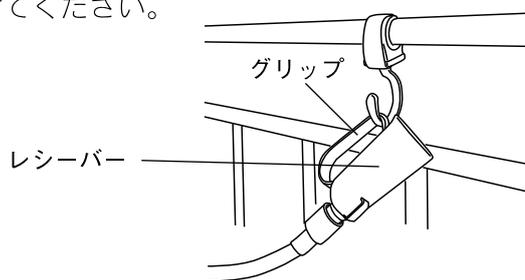
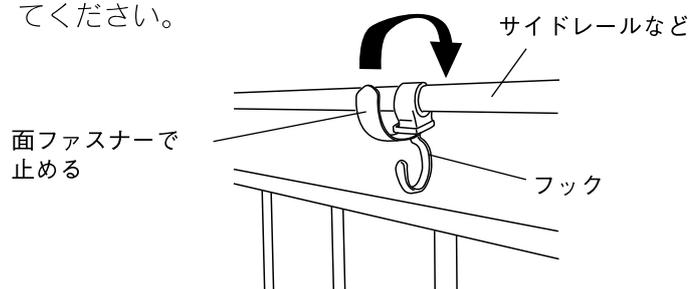


●レシーバースタンドを使用する際は、ホースをレシーバースタンドに通してからレシーバー部を差込んでください。レシーバースタンドの横からレシーバー部を無理に押し込むと、レシーバー部やレシーバースタンドが破損・変形するおそれがあります。

●フックを使用する場合は、下記を参照してフックを取付け、レシーバーをフックにかけてください。

①フックをサイドレールなどに取付けてください。

②レシーバーのグリップをフックにかけてください。



採尿器本体の設置

下記を参照して採尿器本体を設置してください。

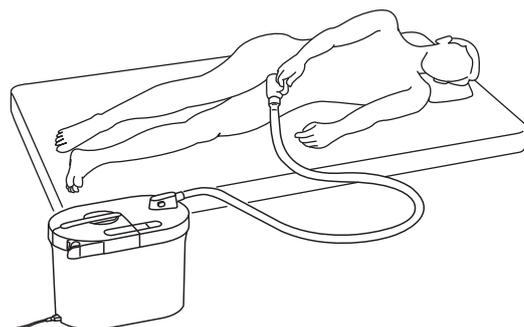


- 電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください。コンセントから抜く際、電源コードのみを持って引抜くとコードが傷んで感電・火災のおそれがあります。
- タコ足配線は行わないでください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけないでください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - 電源コードに重いものを置いたり無理な力を加えないようにしてください。
 - ベッドの可動部に電源コードをはさまないようにしてください。
 - ベッドなどで電源コードを踏みつけないでください。
- 傷んだ電源コードは修理（交換）を依頼してください。
- 熱器具（ストーブなど）の近くや直射日光の当たる場所では使用しないでください。変質・変形・発火などの原因となります。



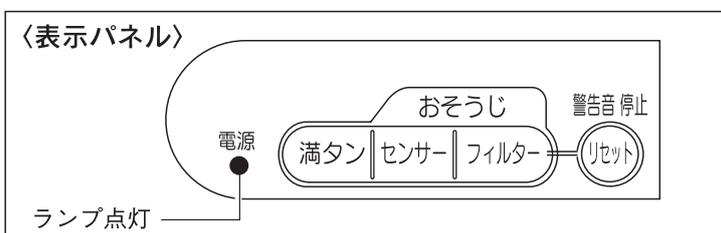
- ベッド上で使用する場合は、ベッド動作の妨げにならない位置に採尿器本体を設置してください。ベッド動作により採尿器本体がベッドにはさまれて破損したり、ベッドが変形するおそれがあります。
- 吸引中に採尿器本体が転倒しないように、設置場所に注意してください。吸引中に採尿器本体が転倒すると、尿がモーターポンプユニットまで浸入し、破損するおそれがあります。
- 採尿器本体・レシーバーの上に重いものを載せないでください。破損・変形の原因となります。

①ホースが折れ曲がらないように注意して、採尿器本体をできる限り低く、水平で安定した場所に設置してください。



- 採尿器本体をレシーバーより高い位置に設置しますと、採尿時の吸引力が低下したり、ホース内に尿が残ったりしますので注意してください。

②電源プラグを、家庭用電源 100V のコンセントに差込んでください。電源ランプが点灯し、使用可能状態になります。



6 使用方法

6.2.男性用レシーバーの使いかた

ご使用の前に

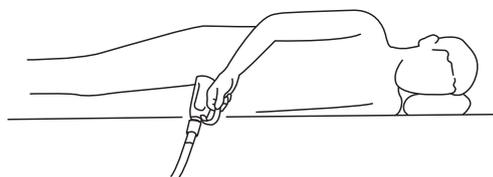
スカットクリーンを使用するためには、レシーバーを使い慣れることが重要です。ご使用時の姿勢に応じて、以下の説明をよくご理解のうえ、慣れるまで練習をして適切に使用してください。

ご使用時の姿勢

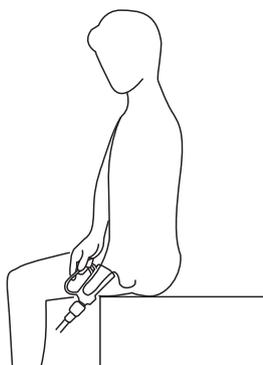
- 男性の場合は下図のような姿勢で使用できます。使用する方にあつた、楽な姿勢でご使用ください。
- 使い慣れるまでは、多少尿が漏れてもよいように、下に紙おむつまたはタオルなどを敷いてください。



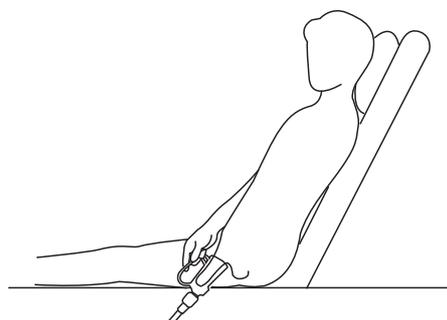
①仰向けに寝た姿勢（仰臥位）
（22 ページ参照）



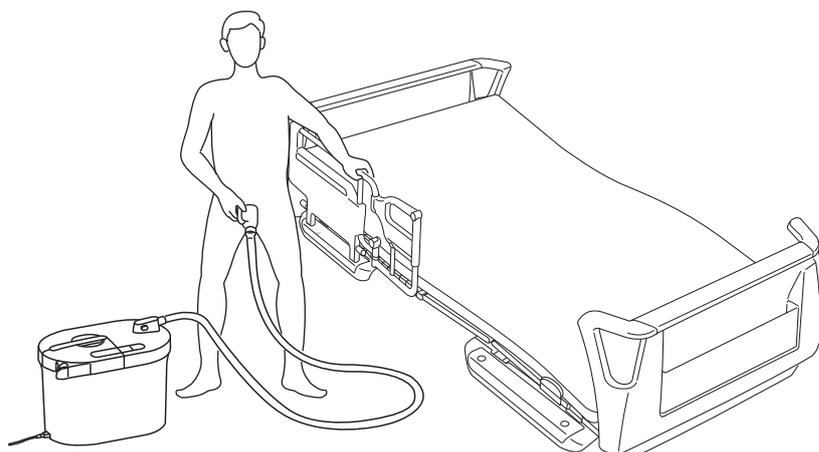
②横向きに寝た姿勢（側臥位）
（22 ページ参照）



③車椅子やベッド端などに
座った姿勢（座位）
（23 ページ参照）



④上半身を後ろへ傾斜
させた姿勢（後傾座位）
（23 ページ参照）

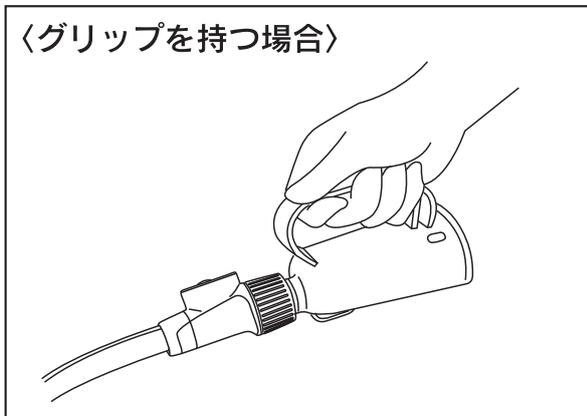


⑤立った姿勢（立位）（23 ページ参照）

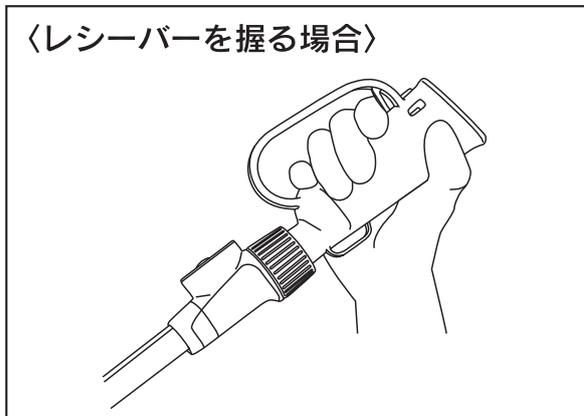
レシーバーの持ちかた

- レシーバーは下図のような持ちかたで使用できます。使用する方にあった持ちかたでご使用ください。

〈グリップを持つ場合〉



〈レシーバーを握る場合〉

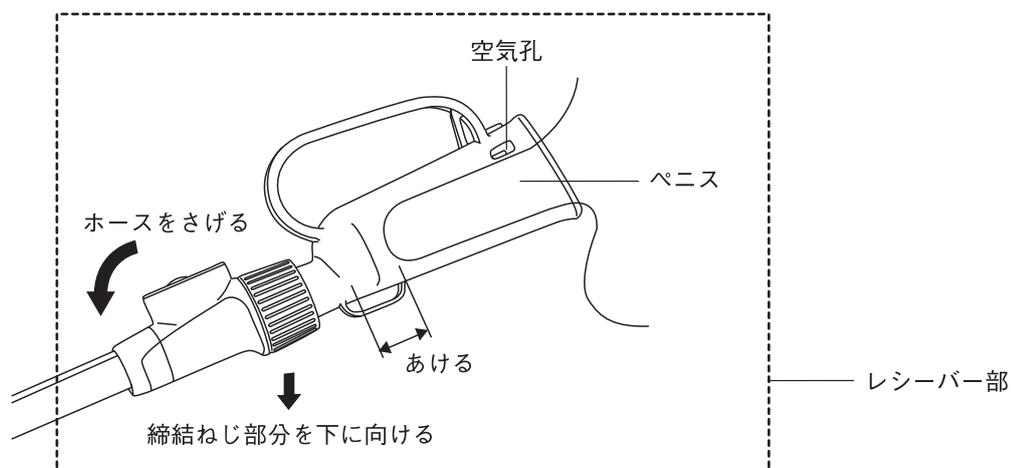


レシーバーの当てかた



- レシーバーは正しい位置に当ててください。レシーバーの当てかたが不十分であったり、正しい当てかたになっていないと、尿が漏れてシートやふとんなどを汚す原因となります。
- ペニスを勃起させたままレシーバー部の奥まで入れないでください。思わぬぬけがをしたり、レシーバー部／ホース接続部がふさがれ、尿が吸引されなくなるおそれがあります。
- レシーバーの空気孔を衣服や寝具などでふさがないでください。採尿器本体のモーターに大きな負荷がかかり、故障するおそれがあります。

- いずれの使用姿勢でも下図のように、レシーバー部にペニスを入れ、締結ねじ部分を下に向けてください。ホースがレシーバー部の位置より低くなり、尿が漏れ難くなります。



- ホースがレシーバー部の位置より低くなりづらい場合や尿が漏れるおそれがある場合は、予め吸引スイッチを押して尿を吸引してください。

6 使用方法

6.2.男性用レシーバーの使いかた

採尿のしかた

■自動採尿する場合

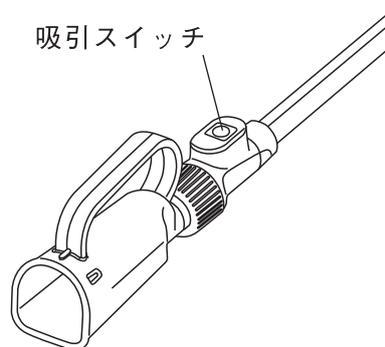
- ①「レシーバーの当てかた」(20 ページ) を参照してレシーバーを当て、排尿してください。尿センサーが尿を感知して吸引を開始します。
- ②吸引停止後、レシーバーを外してください。



- 吸引停止後にレシーバーを外してください。吸引停止前に外すと、レシーバー部やホース内に残っている尿がレシーバーから漏れるおそれがあります。
- 尿センサーが尿を感知している場合は、吸引は停止しません。ただし、自動的に停止する場合があります。(13 ページ参照)
- 100 秒以上尿を感知し続けた場合は、センサー汚れランプが点灯し、作動を停止します。

■吸引スイッチにより採尿する場合

- 排尿する前に吸引を開始することができます。
 - 使用に慣れていない方、漏れに不安のある方は、吸引スイッチを使用して排尿することをお勧めします。
- ①吸引スイッチを押して、吸引できる状態にしてください。



- ②「レシーバーの当てかた」(20 ページ) を参照してレシーバーを当て、排尿してください。
- ③排尿が終了したら、再度吸引スイッチを押して吸引が停止するまで、そのままお待ちください。
- ④吸引停止後、レシーバーを外してください。



- 吸引停止後にレシーバーを外してください。吸引停止前に外すと、レシーバー部やホース内に残っている尿がレシーバーから漏れるおそれがあります。
- 尿センサーが尿を感知している場合は、排尿中と判断し、吸引スイッチを押しても吸引は停止しません。ただし、自動的に停止する場合があります。(14 ページ参照)

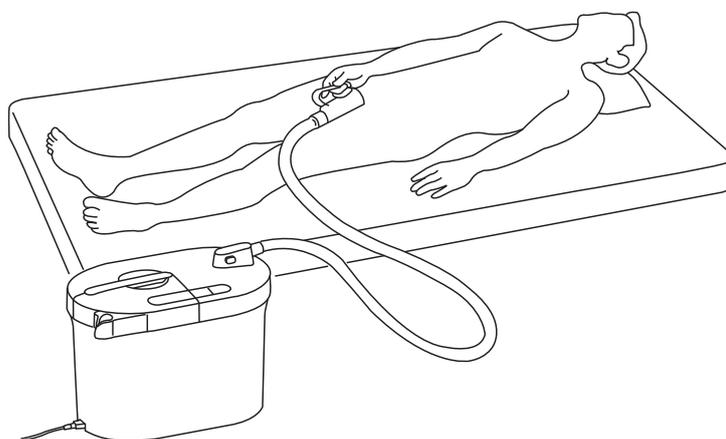
各姿勢での操作手順



- 各姿勢で吸引する際は、ホースが折れ曲がらないように注意してください。吸引力が低下したり、ホースが破損・変形するおそれがあります。

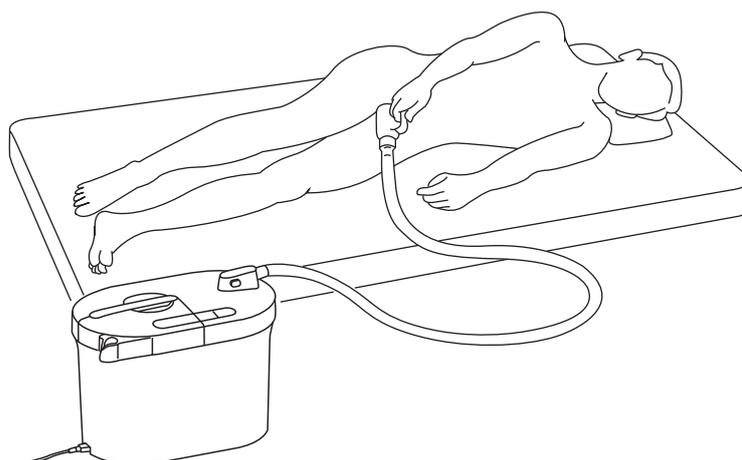
■仰向けに寝た姿勢（仰臥位）

- ①吸引スイッチを使用して採尿する場合には、あらかじめ吸引スイッチを押してください。
- ②「レシーバーの持ちかた」(20ページ)を参照してレシーバーを持ち、ペニスをレシーバーに入れてください。ベッドのギャッチアップ機能がある場合は、それを使用して背の角度を調節すると、レシーバーが当てやすく、排尿しやすくなります。
- ③「レシーバーの当てかた」(20ページ)を参照して締結ねじ部分を下に向けるようにして、排尿してください。吸引スイッチを使用した場合は、排尿終了後に再度吸引スイッチを押してください。
- ④吸引停止後、ペニスからレシーバーを外してください。



■横向きに寝た姿勢（側臥位）

- ①吸引スイッチを使用して採尿する場合には、あらかじめ吸引スイッチを押してください。
- ②「レシーバーの持ちかた」(20ページ)を参照してレシーバーを持ち、ペニスをレシーバーに入れてください。
- ③「レシーバーの当てかた」(20ページ)を参照して締結ねじ部分を下に向けるようにして、排尿してください。吸引スイッチを使用した場合は、排尿終了後に再度吸引スイッチを押してください。
- ④吸引停止後、ペニスからレシーバーを外してください。



6 使用方法

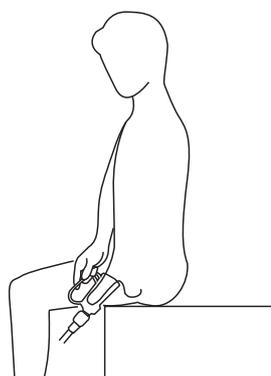
6.2.男性用レシーバーの使いかた

各姿勢での操作手順

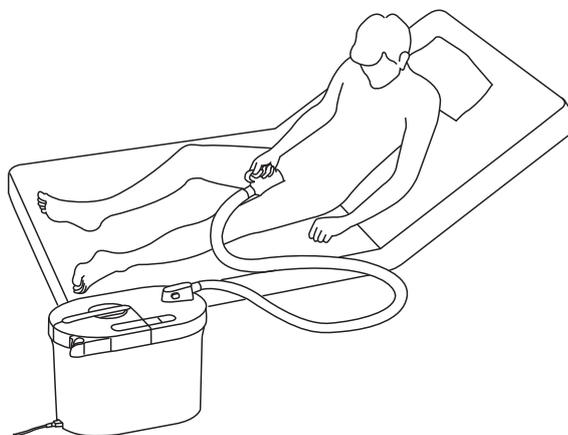
■車椅子やベッド端などに座った姿勢（座位）

■上半身を後ろに傾斜させた姿勢（後傾座位）

- ①吸引スイッチを使用して採尿する場合には、あらかじめ吸引スイッチを押してください。
- ②「レシーバーの持ちかた」(20ページ)を参照してレシーバーを持ち、ペニスをレシーバーに入れてください。後傾座位の姿勢で、ベッドのギャッチアップ機能がある場合は、それを使用して背の角度を調節すると、レシーバーが当てやすく、排尿しやすくなります。
- ③「レシーバーの当てかた」(20ページ)を参照して締結ねじ部分を下に向けるようにして、排尿してください。吸引スイッチを使用した場合は、排尿終了後に再度吸引スイッチを押してください。
- ④吸引停止後、ペニスからレシーバーを外してください。



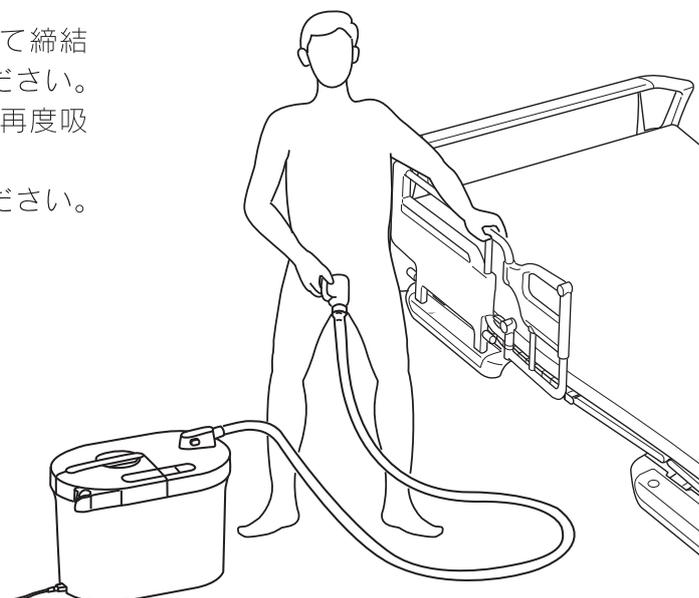
(座位)



(後傾座位)

■立った姿勢（立位）

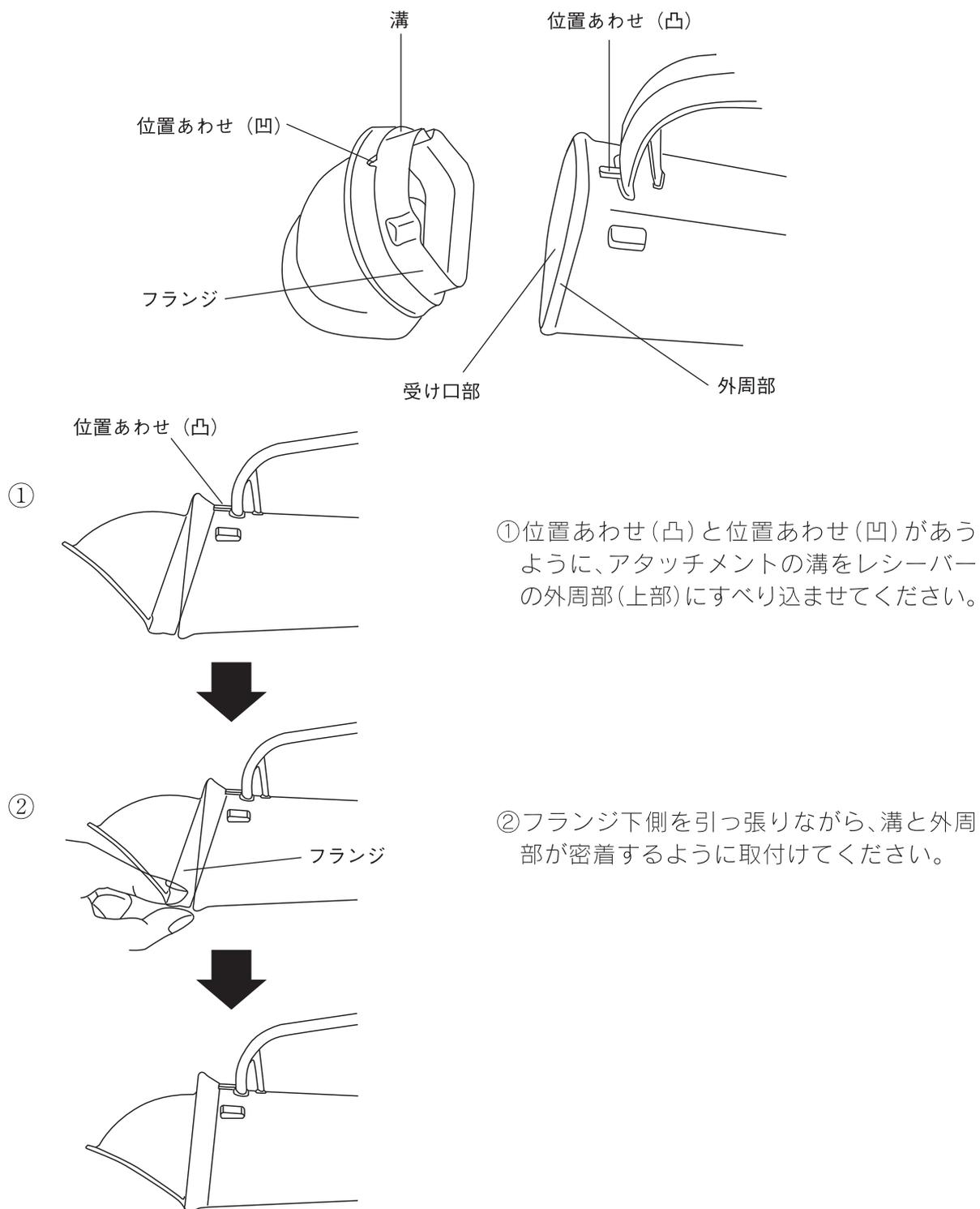
- ①吸引スイッチを使用して採尿する場合には、あらかじめ吸引スイッチを押してください。
- ②「レシーバーの持ちかた」(20ページ)を参照してレシーバーを持ち、ペニスをレシーバーに入れてください。
- ③「レシーバーの当てかた」(20ページ)を参照して締結ねじ部分を下に向けるようにして、排尿してください。吸引スイッチを使用した場合は、排尿終了後に再度吸引スイッチを押してください。
- ④吸引停止後、ペニスからレシーバーを外してください。



装着した状態で使用する場合

- 夜間など、一時的にレシーバーを装着した状態で使用することもできます。
- 装着した状態で使用する場合は、レシーバーの受け口部にアタッチメントを取付けることで、ペニスがレシーバーから外れにくくなります。

〈アタッチメントの取付けかた〉



6 使用方法

6.2.男性用レシーバーの使いかた

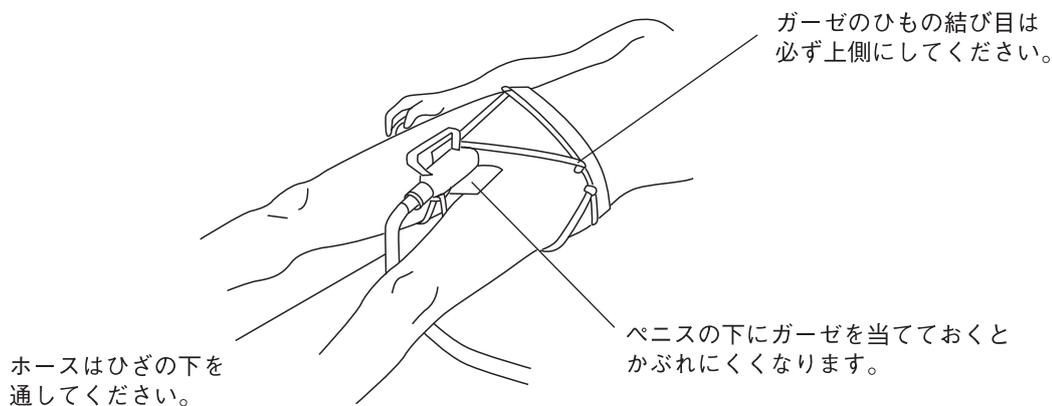
装着した状態で使用する場合



- 仰向けに寝た姿勢で使用するため、使用者の身体に床ずれが発生するおそれがあります。医師にご相談の上、ご使用ください。
- 尿や陰部が触れるレシーバー部、ホース、アタッチメントは定期的に洗浄・消毒してください。また、ご使用になる方の身体を拭くなど、衛生面にも十分ご注意ください。体質や長時間の装着により、かゆみ・かぶれなどが生じるおそれがあります。なお、肌に合わない場合は、長時間装着した状態での使用はお控えください。
- 尿が常に出続ける方には使用しないでください。採尿器本体が長時間作動して故障するおそれがあります。

- 体動が少なく、長時間仰向けに寝た姿勢を保持できる方には、ペニスをレシーバーに入れたまま、ガーゼ状のひもなどで固定して使用することができます。

- ①ペニスをレシーバーに入れて、ガーゼ状のひもなどで下図のようにレシーバーを固定してください。
- ②「レシーバーの当てかた」(20ページ)を参照して締結ねじ部分を下に向けるようにしてください。



- 仰向けに寝た姿勢でご使用ください。
- 仰向けに寝た姿勢の場合でも、ペニスが収縮して上を向くと、外れてしまう場合があります。ペニスがレシーバーから外れていないか定期的を確認してください。
- レシーバーを装着した状態の方を体位変換した場合は、その都度、ペニスがレシーバーから外れていないことを確認してください。一時的に横向きに寝た姿勢にした場合は、特にご注意ください。

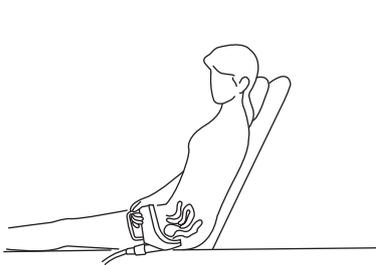
6.3.女性用レシーバーの使いかた

ご使用の前に

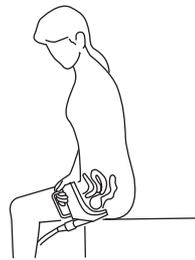
スカットクリーンを使用するためには、レシーバーを使い慣れることが重要です。ご使用時の姿勢に応じて、以下の説明をよくご理解のうえ、慣れるまで練習をして適切に使用してください。

ご使用時の姿勢

- 女性の場合は下図のような姿勢で使用できます。使用する方にあつた、楽な姿勢でご使用ください。
- 使い慣れるまでは、多少尿が漏れてもいいように、下に紙おむつまたはタオルなどを敷いてください。



- ①上半身を後ろへ傾斜させた姿勢（後傾座位）
（29 ページ参照）



- ②車椅子やベッド端などに座った姿勢（座位）
（29 ページ参照）

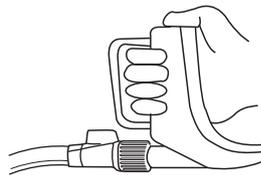
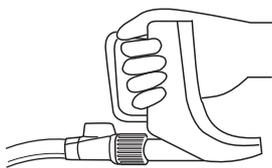


- ③仰向けに寝た姿勢（仰臥位）
（30 ページ参照）

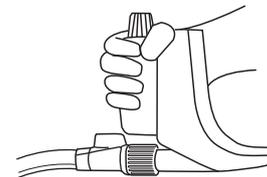
レシーバーの持ちかた

- レシーバーは下図のような持ちかたで使用できます。使用する方にあつた持ちかたでご使用ください。

レシーバーを握る場合



ハンドルアダプターを取付けた場合



ハンドルアダプターを取付けたほうが、使いやすい場合があります。取付けかたは30 ページ①～②を参照してください。

6 使用方法

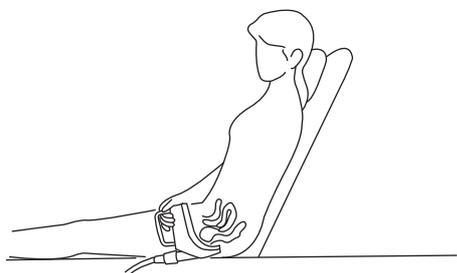
6.3.女性用レシーバーの使いかた

レシーバーの当てかた



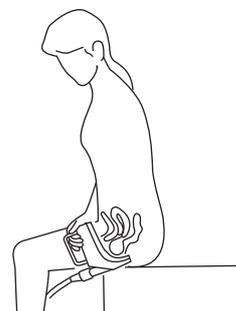
- レシーバーは正しい位置に当ててください。レシーバーの当てかたが不十分であったり、正しい当てかたになっていないと、尿が漏れてシートやふとんなどを汚す原因となります。
- レシーバーの空気孔を衣服や寝具などでふさがないでください。採尿器本体のモーターに大きな力がかかり、故障するおそれがあります。

■女性は上半身が起きあがるにつれて尿道口の位置がさがります。排尿の姿勢によってレシーバーの当てかたを工夫してください。



①後傾座位

尿道口は少しさがりますが、レシーバーを尿道口の下部に押し当てれば採尿できます。



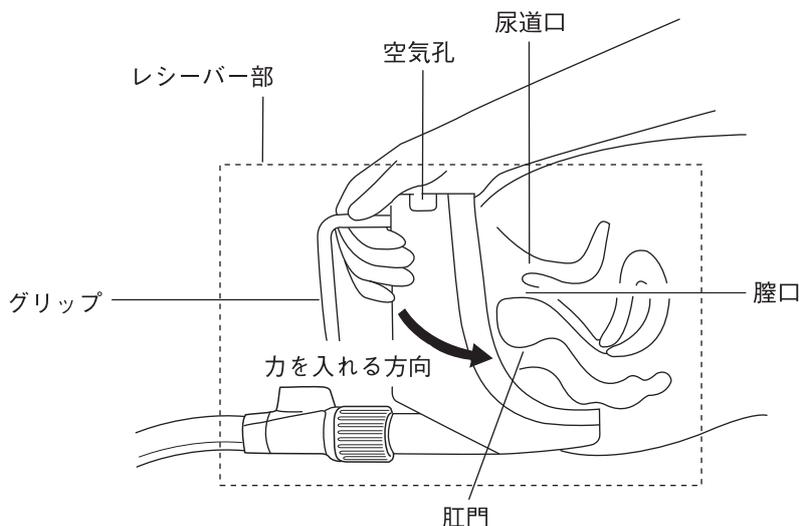
②座位

個人差がありますが、尿道口が下になって、レシーバーが当たらない場合があります。その場合は、後傾座位になって使用してください。



③仰臥位

尿道口は高い位置にありますので、図のような使いかたでレシーバーを当てて採尿できます。



●いずれの姿勢でも、陰部をすくうようにすると当てがやすくなります。

採尿のしかた

- レシーバー内には若干の尿が残ります。吸引停止後は、ティッシュなどで残った尿を拭き取ってください。

■自動採尿する場合

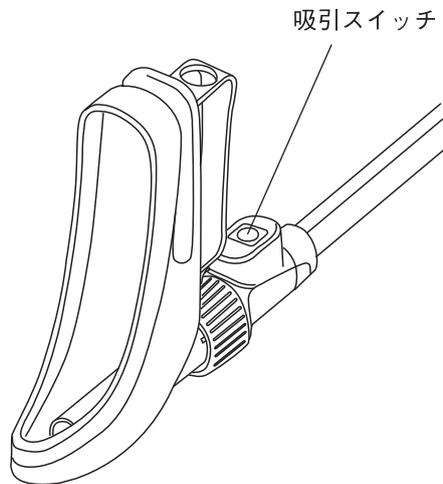
- ①「レシーバーの当てかた」(27ページ)を参照してレシーバーを当て、排尿してください。尿センサーが尿を感知して吸引を開始します。
- ②吸引停止後、レシーバーを外してください。



- 吸引停止後にレシーバーを外してください。吸引停止前に外すと、レシーバー部やホース内に残っている尿がレシーバーから漏れるおそれがあります。
- 尿センサーが尿を感知している場合は、吸引は停止しません。ただし、自動的に停止する場合があります。(13ページ参照)
- 100秒以上尿を感知し続けた場合は、センサー汚れランプが点灯し、作動を停止します。

■吸引スイッチにより採尿する場合

- 排尿する前に吸引を開始することができます。
 - 使用に慣れていない方、漏れに不安のある方は、吸引スイッチを使用して採尿することをお勧めします。
- ①吸引スイッチを押して、吸引できる状態にしてください。



- ②「レシーバーの当てかた」(27ページ)を参照してレシーバーを当て、排尿してください。
- ③排尿が終了したら、再度吸引スイッチを押して吸引が停止するまで、そのままお待ちください。
- ④吸引停止後、レシーバーを外してください。



- 吸引停止後にレシーバーを外してください。吸引停止前に外すと、レシーバー部やホース内に残っている尿がレシーバーから漏れるおそれがあります。
- 尿センサーが尿を感知している場合は、排尿中と判断し、吸引スイッチを押しても吸引は停止しません。ただし、自動的に停止する場合があります。(14ページ参照)

6 使用方法

6.3.女性用レシーバーの使いかた

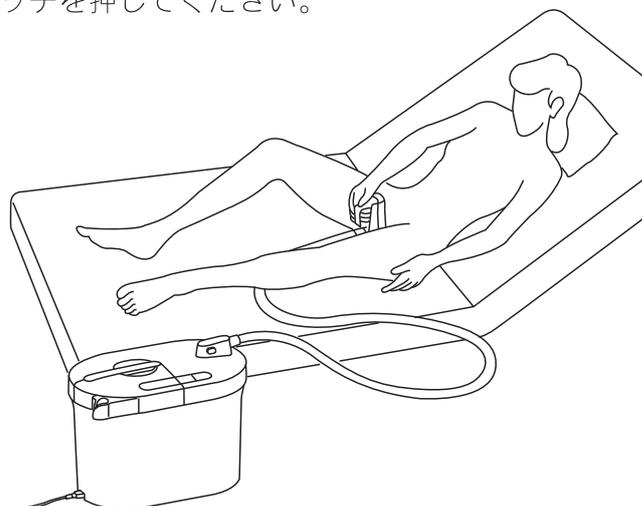
各姿勢での操作手順



- 各姿勢で吸引する際は、ホースが折れ曲がらないように注意してください。吸引力が低下したり、ホースが破損・変形するおそれがあります。

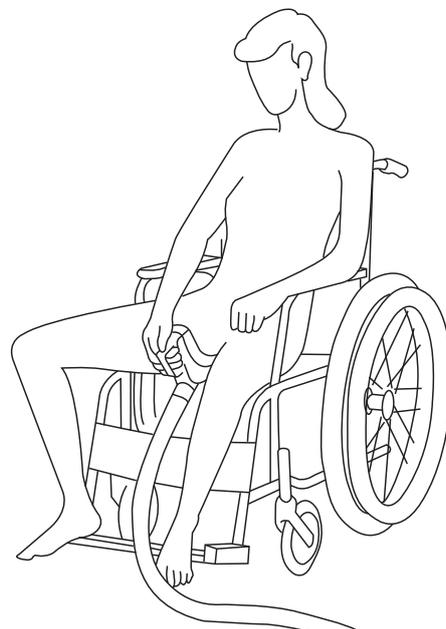
■上半身を後ろに傾斜させた姿勢（後傾座位）

- ①吸引スイッチを使用して採尿する場合には、あらかじめ吸引スイッチを押してください。
- ②「レシーバーの持ちかた」(26ページ)を参照してレシーバーを持ってください。
- ③「レシーバーの当てかた」(27ページ)を参照してレシーバーを当てて、排尿してください。吸引スイッチを使用した場合は、排尿終了後に再度吸引スイッチを押してください。
- ④吸引停止後、レシーバーを外してください。



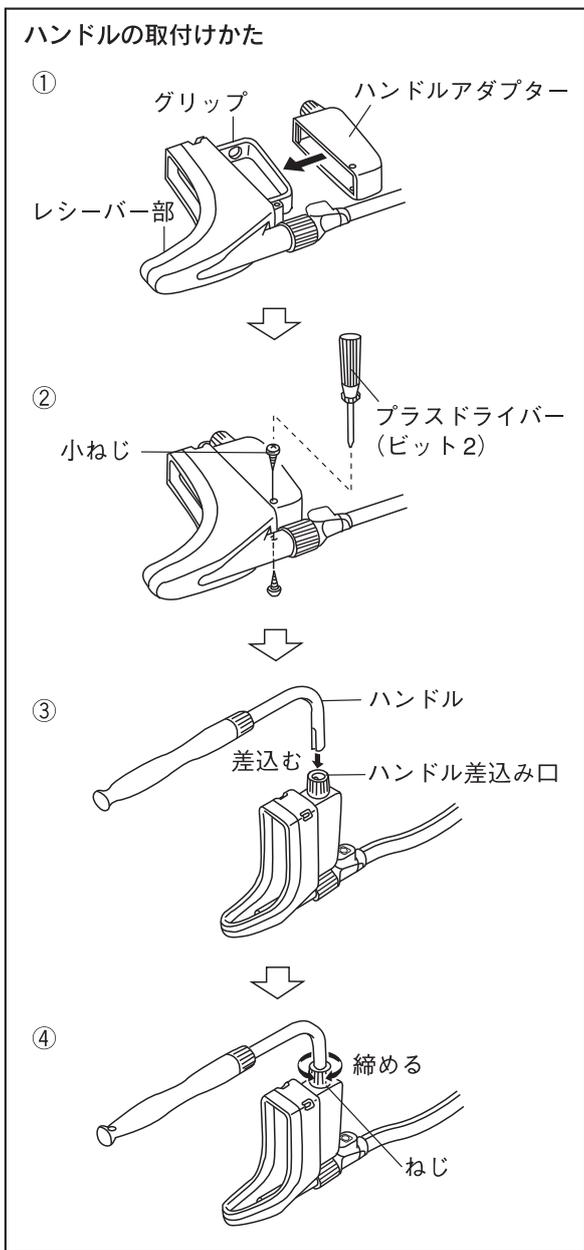
■車椅子やベッド端などに座った姿勢（座位）

- ①吸引スイッチを使用して採尿する場合には、あらかじめ吸引スイッチを押してください。
- ②「レシーバーの持ちかた」(26ページ)を参照してレシーバーを持ってください。
- ③「レシーバーの当てかた」(27ページ)を参照してレシーバーを当てて、排尿してください。レシーバーが当たらない場合には、おしりを座面の前方へずらし、背もたれに寄りかかり、後傾座位の要領でレシーバーを当ててください。尿道口が上になり、レシーバーが当てやすく、排尿しやすくなります。吸引スイッチを使用した場合は、排尿終了後に再度吸引スイッチを押してください。
- ④吸引停止後、レシーバーを外してください。



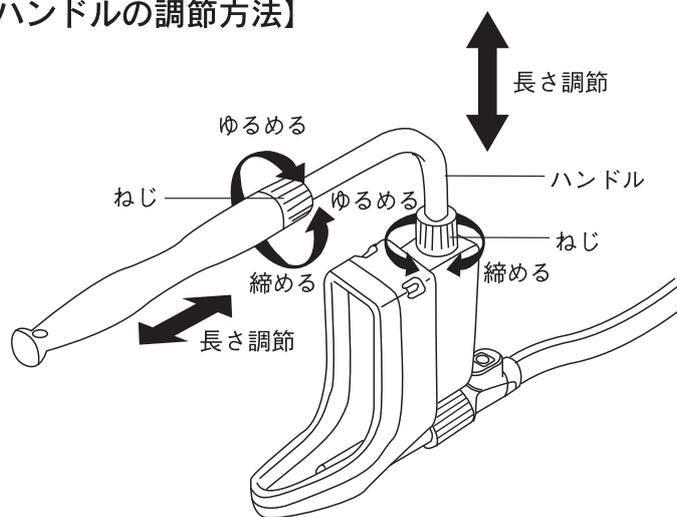
■仰向けに寝た姿勢（仰臥位）

●この姿勢で使用する場合は、レシーバーにハンドルを取付けてください。



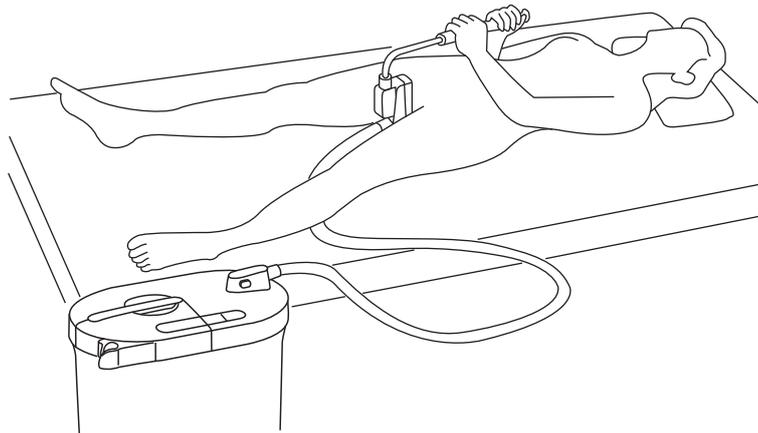
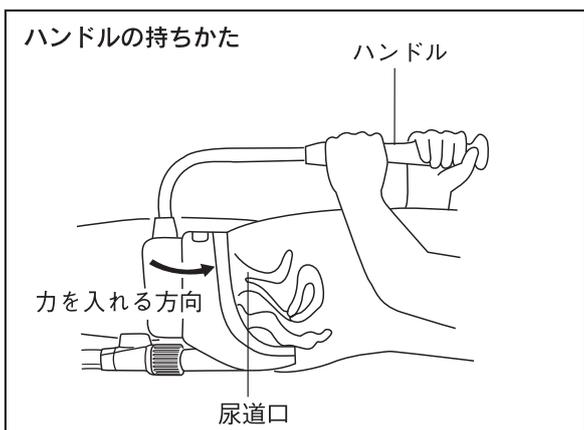
- ①レシーバーのグリップに、ハンドルアダプターを図の方向に差込んでください。
- ②プラスドライバー（ビット2）で、小ねじ（2ヶ所）を締付けてください。
- ③ハンドルアダプターのハンドル差込み口に、ハンドルを図の方向に差込んでください。
- ④ハンドルアダプターのねじを締付けてください。

【ハンドルの調節方法】



●ハンドルとハンドルアダプターのねじをゆるめると、ハンドルの長さ調節ができます。使いやすい長さに調節してください。調節後は、必ずねじをしっかりと締付けてください。

- ⑤図のようにハンドルを持って、レシーバーを当ててください。（「レシーバーの当てかた」（27ページ）をご参照ください）



6 使用方法

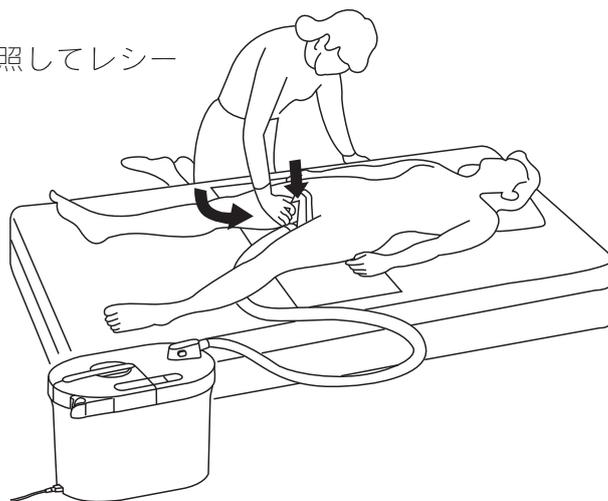
6.4. 介助者がレシーバーを当てる場合



●介助者がレシーバーを当てて吸引する際、ホースが折れ曲がらないように注意してください。吸引力が低下したり、ホースが破損・変形するおそれがあります。

寝ている方の場合

- ①多少尿が漏れてもいいように、おしりの下に紙おむつまたはタオルなどを敷いてください。
- ②男性の場合は20ページ、女性の場合は27ページを参照してレシーバーを陰部に当ててください。



●女性用レシーバーの場合は、陰部をすくうようにすると当てがやすくなります。

座っている方の場合

- ①女性の場合、おしりを座面の前方へずらして、尿道口を高い位置にしてください。レシーバーが当てがやすくなります。
- ②男性の場合は20ページ、女性の場合は27ページを参照してレシーバーを陰部に当ててください。



●女性用レシーバーの場合は、陰部をすくうようにすると当てがやすくなります。
●ホースをレシーバー部より低くなるようにして、尿が漏れないように注意してください。

7 よりよく使うために

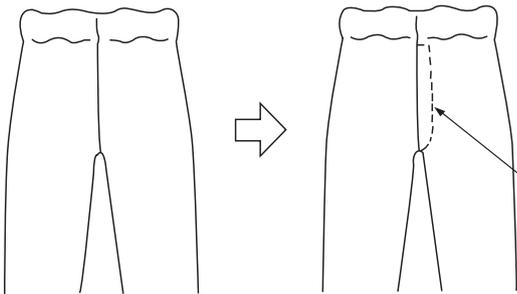
はじめに

- 排泄の用具を使用する場合、使い慣れることが重要です。使い慣れるまでは失敗することもあります。大切なのは、例えば初めに漏らしてもあきらめないうで、使いかたを工夫しながら排泄できるようになることです。下記の工夫例をご参照ください。
- 万一の尿漏れに備えて、陰部の下に紙おむつまたはタオルなどを敷いてから排尿してください。

衣服の工夫例

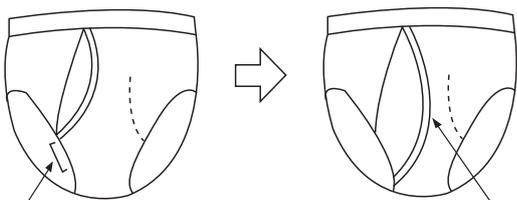
- 尿意を感じたらすぐにレシーバーを陰部に当てられるように衣服を工夫してください。
- 女性は、和服用または介護用の股割れパンツをはくと、下着を脱ぐ手間がはぶけます。
- 男性は、スエットパンツやブリーフを下図のように改良すると、排尿の準備が早くできます。
- レシーバーは、手早く取れるように、取りやすい位置に置いてください。

■男性用下ばきの改良のしかた



●スエットパンツ（前あきがないもの）

ファスナーを付けて前あきにしてください。
※表から見て、ファスナーが見えないように配慮してください。

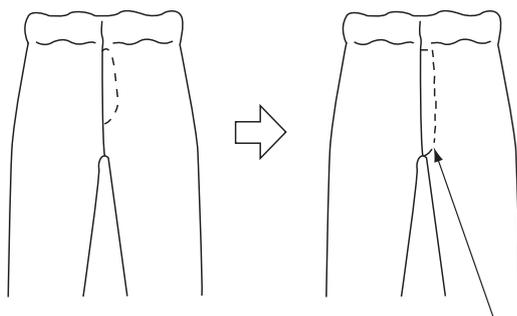


●ブリーフ

前あきの重なり幅を小さくするために、前あきのぬい糸を3～4cmほどいってください。

3～4cmほどく

重なりの幅を小さくする



●スエットパンツ（前あきがあるもの）

前あきを長くし、ファスナーを付けてください。
※表から見て、ファスナーが見えないように配慮してください。

前あきを長くし、ファスナーを付ける

7 よりよく使うために

排尿表の作成

■お腹に力が入ったり、くしゃみや笑ったときに尿が漏れる方、尿意を感じてから排尿までの時間が短く、間にあわなくて漏れる方は、下記を参照して排尿を行ってください。

排尿表の作成例

	時刻	尿量(cc)
1回目	朝6:30	180
2回目	9:00	160
3回目	12:00	150
4回目	1:30	160

①1日の排尿回数と尿量と何時頃に排尿したかを調べて、左図のような排尿表を作ってください。

②その表に基づき排尿しそうな時間の少し前に、レシーバーを陰部に当てがって排尿する練習をしてください。

※こうすることにより、失敗が少なくなる可能性があります。



●1回の最大尿量が150cc以下の場合は、膀胱内に残尿している心配がありますので、医師に相談してください。残尿は、尿路感染症を起こしたり、腎臓に悪い影響を与える原因となります。

尿臭の予防

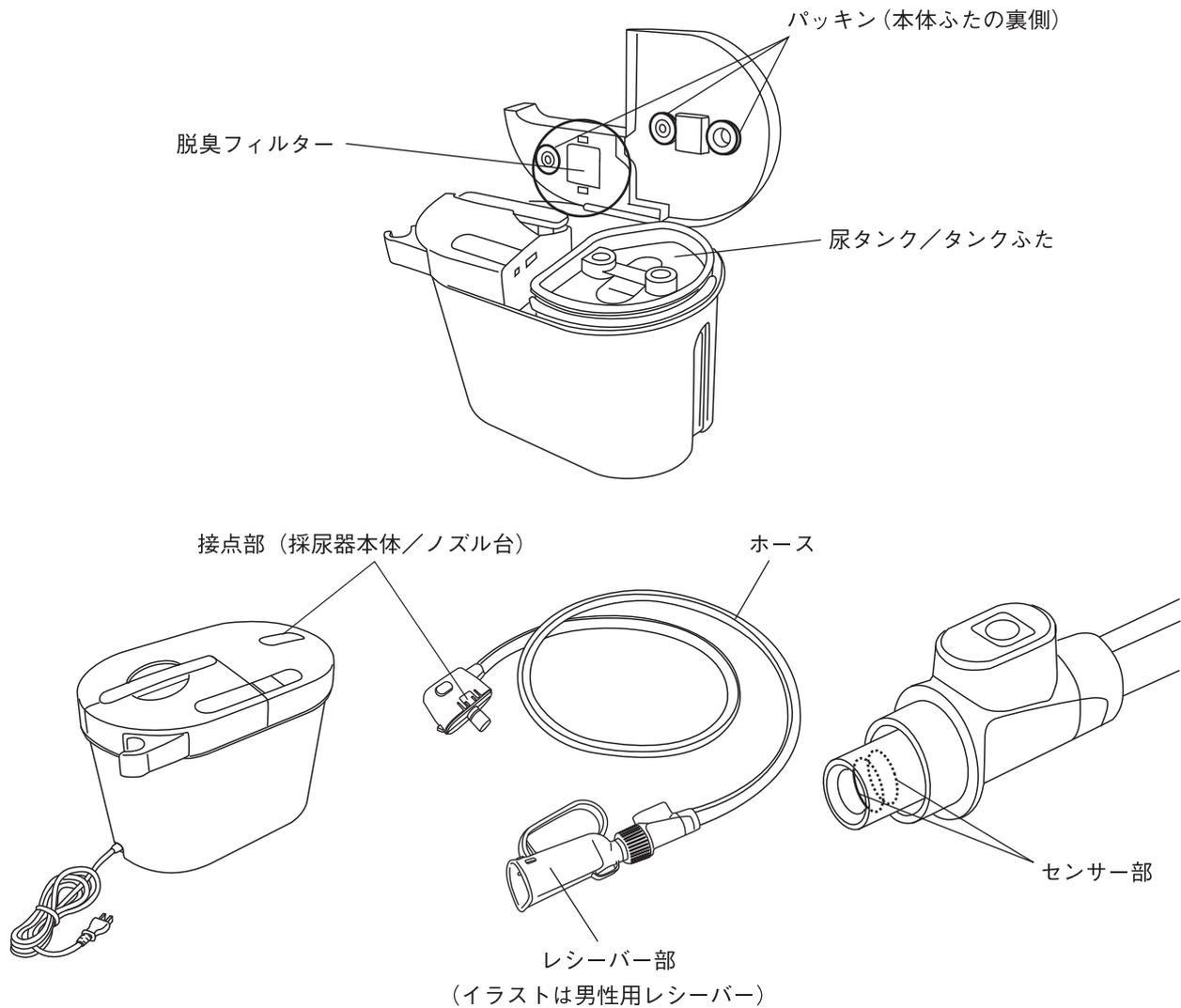
■「8.5.脱臭フィルターのお手入れ」(44～46ページ参照)をしても尿臭が気になる場合は、下記のように工夫してみてください。

- 1日に2回以上尿を捨ててください。
- 使用後はレシーバー部とホースを水洗いしてください。
- 尿タンクに、あらかじめ消臭剤を入れてご使用ください。消臭剤は薬局などでお買い求めください。

8 日常のお手入れ

8.1.お手入れ箇所

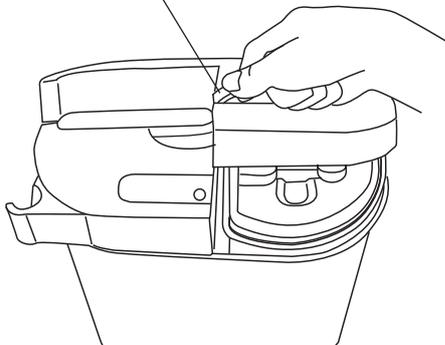
■清潔を保つために、下記に示す部分を定期的に洗浄・消毒するように心がけてください。



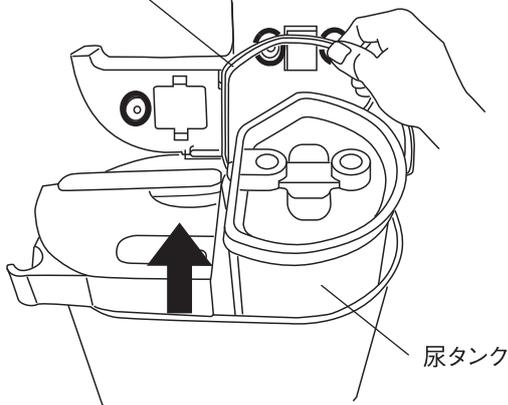
8 日常のお手入れ

8.2.尿の捨てかた

ストッパーレバー

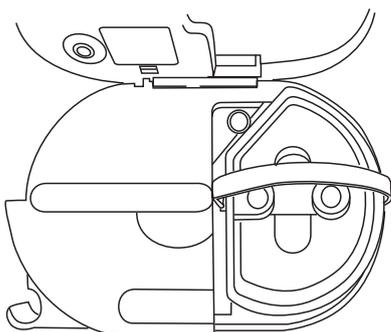
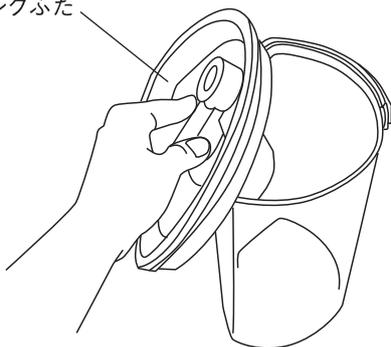


タンク取っ手



尿タンク

タンクふた



- 尿はすぐに腐敗を始め、尿臭発生の原因となります。
- 満タンランプが点灯したら、尿タンク内の尿を捨ててください。
- 尿は1日1回は必ず捨ててください。

①本体ふたのストッパーレバーを引きあげて、本体ふたを開けてください。

②タンク取っ手を持って、真上に引きあげて尿タンクを取出してください。



- 尿タンクの取出しは、ゆっくり慎重に行ってください。尿がこぼれるおそれがあります。

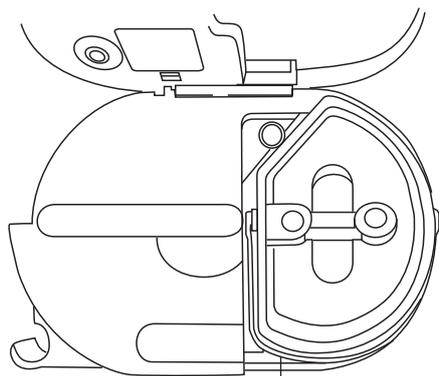
③タンクふたを外して、尿を捨ててください。

④尿タンクとタンクふたを、「尿タンクとタンクふた」(37ページ)を参照してきれいに洗浄してください。

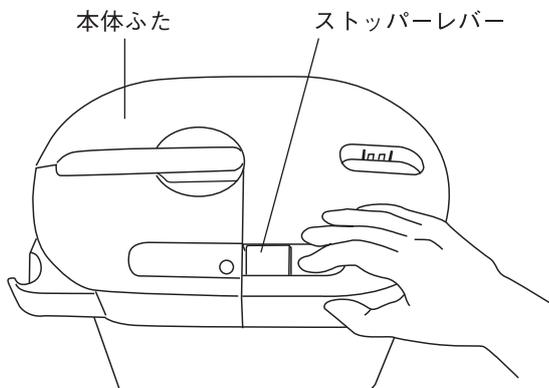
⑤尿タンクにタンクふたの向きをあわせて、確実にタンクふたを閉めてください。



- 尿タンクとタンクふたの間にすき間があると、吸引力が低下し、採尿機能が正常に働きませんので注意してください。



取っ手は手前側に倒す



ストッパーレバーがかかっていることを確認

⑥尿タンクの向きをあわせて本体内に入れ、タンク取っ手を手前側に倒してください。

注意

- タンク取っ手は手前側に倒してください。奥側に倒した状態で本体ふたを閉めると、尿タンクやタンク取っ手が破損・変形して吸引力が低下するおそれがあります。また、本体ふたを正しく閉めることができず、吸引力が低下するおそれがあります。



- 本体ふたを閉める前に異物がないことを確認してください。

⑦本体ふたの背を持って、「カチッ」と音がするまでふたを閉めてください。



- 本体ふたのストッパーレバーが確実にかかっていることを確認してください。

8 日常のお手入れ

8.3.各部の洗いかた



- レシーバーや採尿器本体のお手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。ショートして感電したり、故障するおそれがあります。
- 採尿器本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。ショートして感電したり、故障するおそれがあります。



- お手入れで採尿器本体を持ち上げるときは、本体取っ手を持ってください。本体ふたを持ち上げたり、レシーバーを持つと、破損・変形の原因となります。
- 尿タンクやレシーバーを洗うときは、たわしやミガキ粉を使用しないでください。傷がつくおそれがあります。
- 尿タンクやレシーバーを熱湯で洗わないでください。変形・故障の原因となります。お湯で洗う場合は40℃以下の温度で洗ってください。



- 尿タンク、レシーバー内は服薬などの影響により変色が発生する可能性があります。変色した場合は、洗浄しても落ちない場合もあります。

洗浄液の作りかた

■トイレ用合成洗剤（中性）を水でうすめて、洗浄液を作ります。



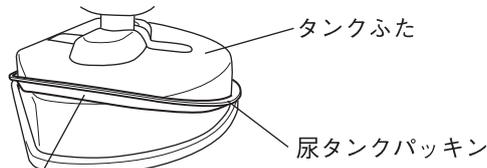
- 洗剤容器に表示されている分量でうすめてください。
- トイレ用合成洗剤（中性）以外は使用しないでください。

尿タンクとタンクふた



- ①尿タンクとタンクふたは尿あかがつきますので、尿を捨てたときに毎回水洗いしてください。尿成分が結晶化し、尿タンクにこびりつき、尿臭の原因となることがあります。汚れがひどい場合は、「洗浄液の作りかた」（上記）を参照して洗浄液を作り、スポンジなどを使用して洗ってください。
- ②タンクふた裏側についているフロートを、洗浄ブラシでこすり洗いしてください。汚れがひどい場合は、「洗浄液の作りかた」（上記）を参照して洗浄液を作って、洗浄してください。
- ③尿タンクパッキン部の奥に汚れが付着している場合は、尿タンクパッキンを外して洗浄ブラシでこすり洗いしてください。尿タンクパッキンはスポンジなどを使用して洗ってください。
- ④流水で十分すすぎ、十分水気を切ってください。

●尿タンクパッキン部分拡大図



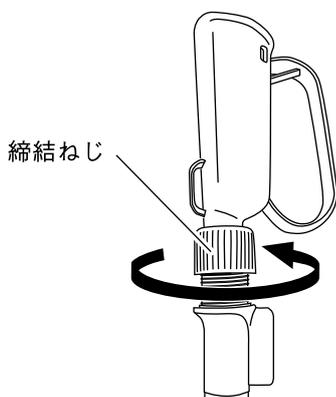
タンクふたの形状にあわせ、この部分を下に向けタンクふた裏側の溝にはめ込む



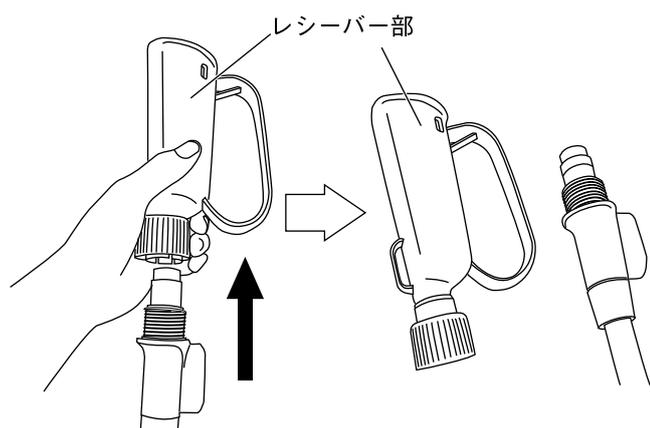
- 尿タンクパッキンは硬いブラシなどで強くこすると傷により密閉性が悪くなります。
- 尿タンクパッキンには向きがあります。正しい向きではめ込んでください。

レシーバー部

■清潔を保ち、尿臭を予防するため、レシーバー部、男性用アタッチメントは、1日1回内部に水を注いで、すすぎ洗いしてください。汚れが付着したときは、洗浄液を作り洗浄してください。

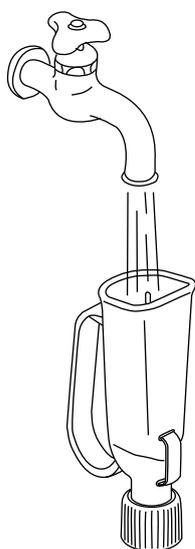


①左図のように締結ねじを反時計回りに回してゆるめてください。



②レシーバー部を上引きあげて取外してください。

③汚れが付着したときは、「洗浄液の作りかた」(37ページ)を参照して洗浄液を作り、レシーバー部をスポンジなどを用いて洗ってください。



④水ですすぎ洗いをし、十分水気を切ってください。

⑤レシーバー部を取付ける際は、「レシーバー部の取付けかた」(39～40ページ)を参照して、レシーバー部をホースに取り付けてください。



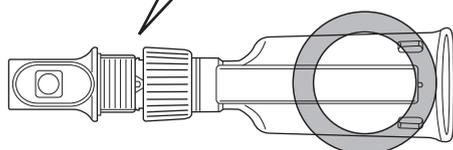
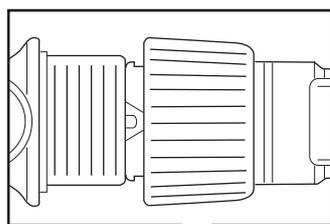
●男性用アタッチメントを使用した場合には、上記要領でアタッチメントも洗ってください。

8 日常のお手入れ

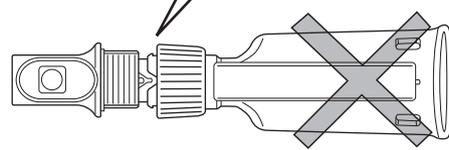
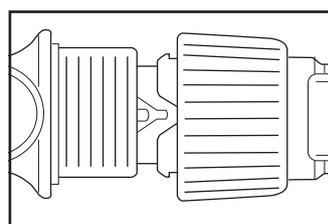
8.3.各部の洗いかた

■レシーバー部の取付けかた

- レシーバー部がホースの根元まで差込まれていることを確認してから締結ねじを回して固定してください。根元まで差込まれていないと、レシーバー部が外れて周りのものが汚れるおそれがあります。



レシーバーが根元まで差込まれている状態

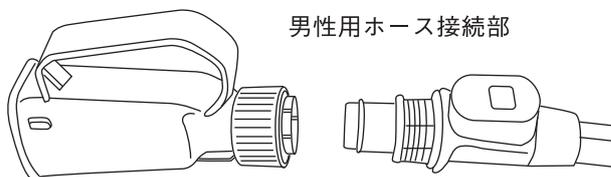


レシーバーが根元まで差込まれていない状態

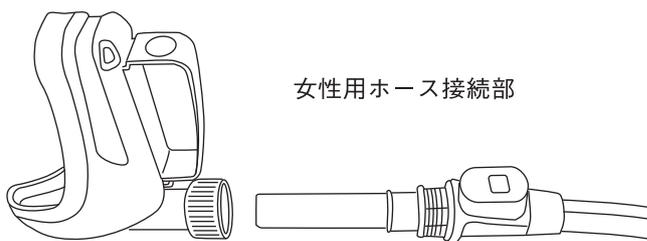


ちゅう
い
注意

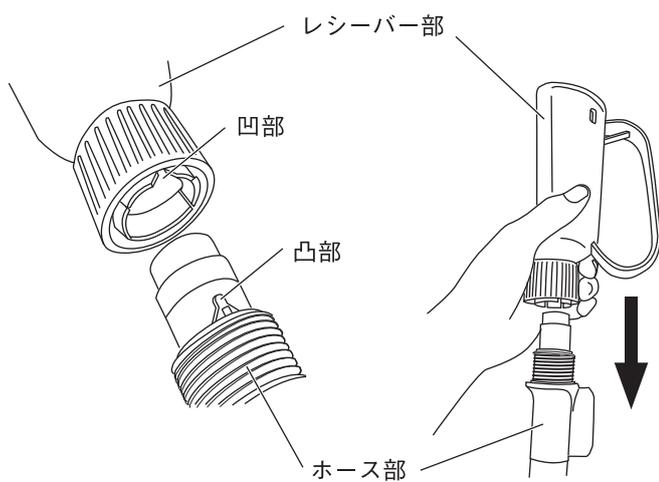
- 男性用レシーバーの場合は、固定後にライン(40ページ参照)が見えることを確認してください。ラインが隠れた状態で使用すると、レシーバー部が外れて周りのものが汚れるおそれがあります。なお、使用中にラインが隠れた状態になった際は、締結ねじを締め直してください。
- 接続の際、手をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ホース接続部は、男性用と女性用で形状が異なります。正しい組合せでご使用ください。使用できなかつたり、吸引力が低下するおそれがあります。



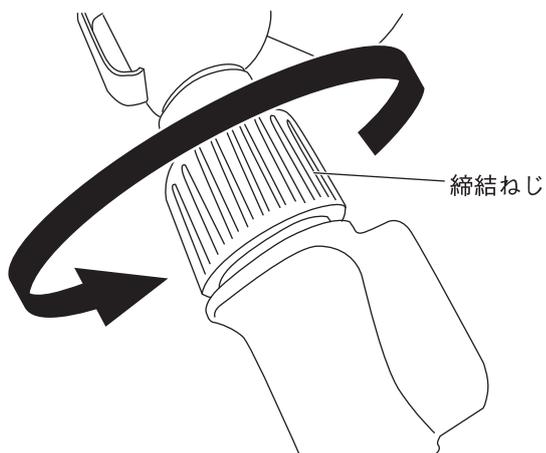
男性用ホース接続部



女性用ホース接続部



①レシーバー部の締結ねじ部の凹部とホース根元の凸部を左図のようにあわせて、レシーバー部をまっすぐ押し込んでください。



②締結ねじを時計回りに回して、固定してください。



③男性用のレシーバーの場合は、左図のようにラインが見えていることを確認してください。



●レシーバー部の締結ねじがゆるんでいないこと、男性用レシーバーの場合は、ラインが見えていることを確認してください。

8 日常のお手入れ

8.3.各部の洗いかた

ホース

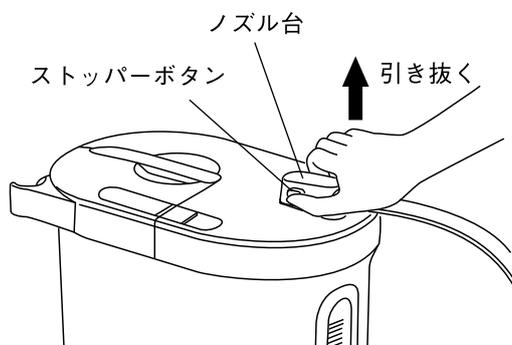
■清潔を保ち、尿臭を予防するため、1日1回内部に水を注いで、すすぎ洗いしてください。汚れが付着したときは、洗浄液を作り洗浄してください。



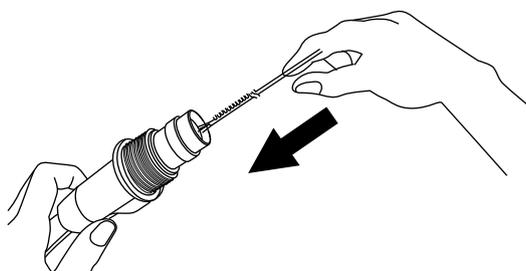
- ホースを洗う際は、採尿器本体からホースを外してください。接続したまますすぎ洗いをしますと、尿タンクから水があふれ、故障の原因となります。
- 吸引スイッチを水洗いしないでください。水洗いすると、ケースのすき間から浸水し、吸引スイッチが破損するおそれがあります。

①電源プラグをコンセントから抜いてください。

②ノズル台のストッパーボタンを押して、ノズル台を真上に引き抜いて、採尿器本体から外してください。



■センサー部／ホース内

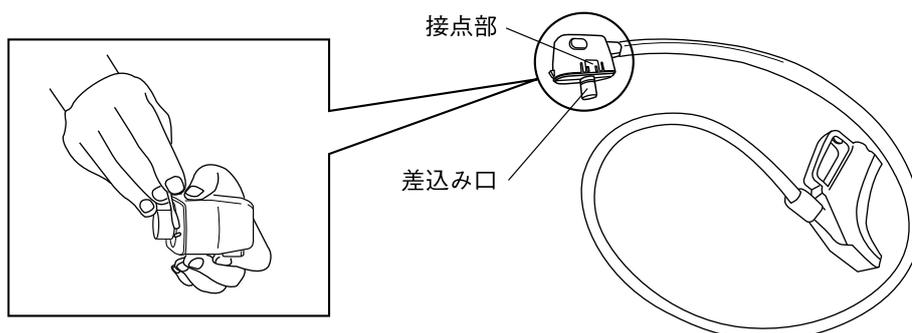


- ③ホース内に水を注いですすぎ洗いをしてください。
- ④汚れが付着したときは、「洗浄液の作りかた」(37ページ)を参照して洗浄液を作り、ホース内に注いで洗浄してください。
- ⑤吸引スイッチに汚れが付着している場合には、水で濡らしたタオルなどをよくしぼってから清拭してください。
- ⑥ホース入口部のセンサー部を、洗浄ブラシでこすり洗いしてください。特に、表示パネルのセンサー汚れランプが点灯している場合は、必ず洗浄してください。
- ⑦ホース内に水を注いで、十分にすすぎ洗いしてください。

■ノズル台接点部

⑧ノズル台の差込み口を、洗浄ブラシでこすり洗いしてください。

⑨ノズル台の接点部に汚れが付着した場合は、アルコールをひたした綿棒などで汚れを落としてください。



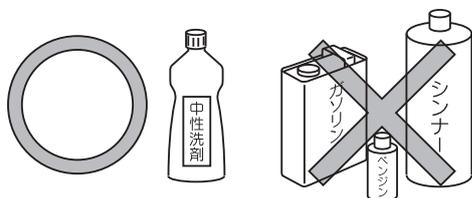
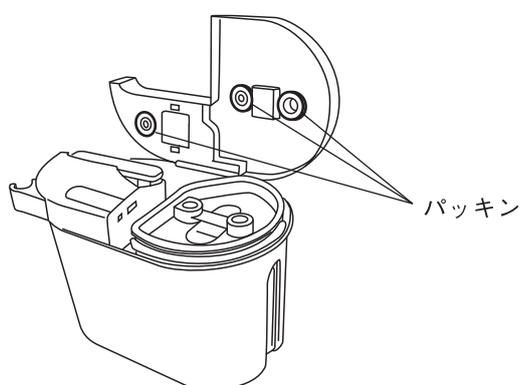
採尿器本体



- 採尿器本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。ショートして感電したり、故障するおそれがあります。

■採尿器本体内

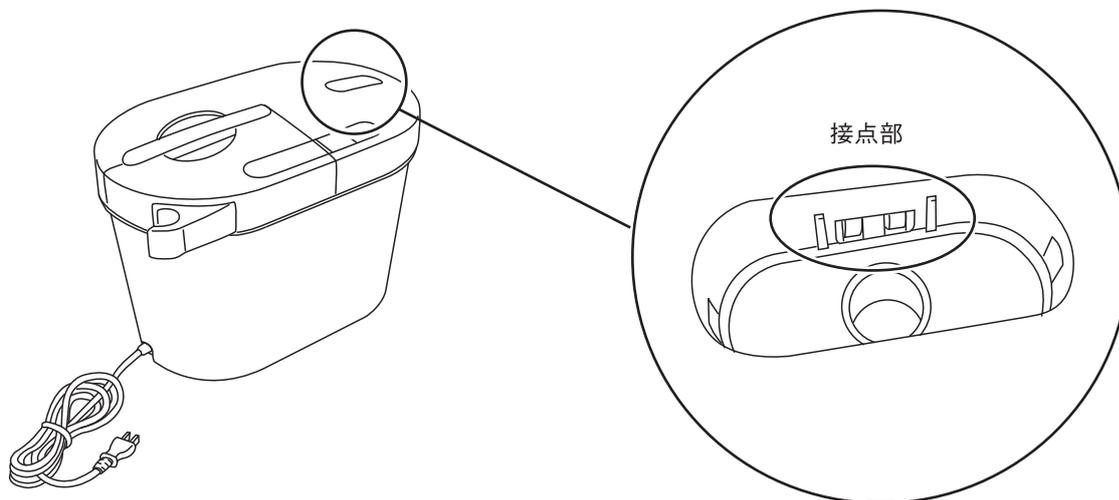
- 採尿器本体内部や本体ふたの裏側（パッキンの周り）、パッキンなど尿のつきやすい場所が汚れた場合は、尿タンクを入れる前に水で薄めた中性洗剤をタオルなどにひたし、よく絞って拭いた後に、乾いたタオルで水分を拭き取ってください。また、パッキンは取外して洗浄することができます。



- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色、変質させるおそれがあります。

■接点部

- 採尿器本体の接点部に汚れが付着した場合は、アルコールをひたした綿棒などで汚れを落としてください。
- 洗浄後、接点部に水滴が溜っている場合は、乾いたタオルなどで水滴を拭き取ってください。



8 日常のお手入れ

8.4.各部の消毒のしかた

【尿タンク・タンクふた・レシーバー・ホース・男性用アタッチメント・タンクパッキン】

■尿タンク・タンクふた・レシーバー・ホース・男性用アタッチメント・タンクパッキンの消毒は、次亜塩素酸ナトリウムを使用してください。

消毒液の作りかた

■次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.05%となるように、消毒剤を水でうすめて、消毒液を作ります。



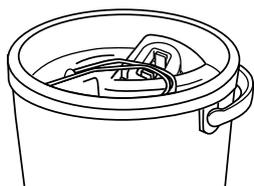
- 次亜塩素酸ナトリウムが含まれていない消毒剤は使用しないでください。消毒効果が低減します。
- 消毒剤は、消毒剤の容器に表示されている注意書きに従い使用してください。

消毒のしかた



- 消毒する前に、必ず洗浄してください。消毒の効果が低減します。

■洗浄後は次の要領で消毒してください。



- ①「消毒液の作りかた」（上記）を参照して、消毒液を作ってください。
- ②消毒液を容器に入れ、尿タンク・タンクふた・レシーバー・ホース・男性用アタッチメント・タンクパッキンをひたします。
- ③20分以上つけ置きしてください。
- ④消毒液から取出し、尿タンク・タンクふた・レシーバー・ホース・男性用アタッチメント・タンクパッキンを水で十分にすすぎ、十分水気を切ってください。



- 消毒後は水気を切ってください。尿センサーや接点部がさびるおそれがあります。

【採尿器本体など】

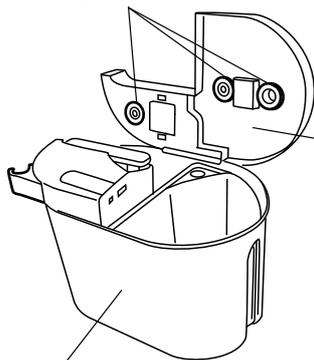
■採尿器本体などの消毒は、市販の消毒剤を使用して、清拭消毒してください。



- 消毒の際は、下記の「各部の材質」を参照して、消毒剤の説明書に従い使用してください。

【各部の材質】

パッキン：CRゴム

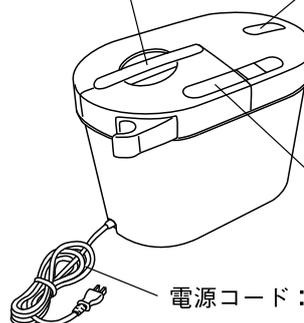


本体ふた：ABS樹脂

本体ケース：ABS樹脂

本体取っ手：ABS樹脂

接点部：ステンレス



表示パネル：ポリウレタン

電源コード：塩化ビニル

8.5.脱臭フィルターのお手入れ

脱臭フィルターのお手入れ時期の目安

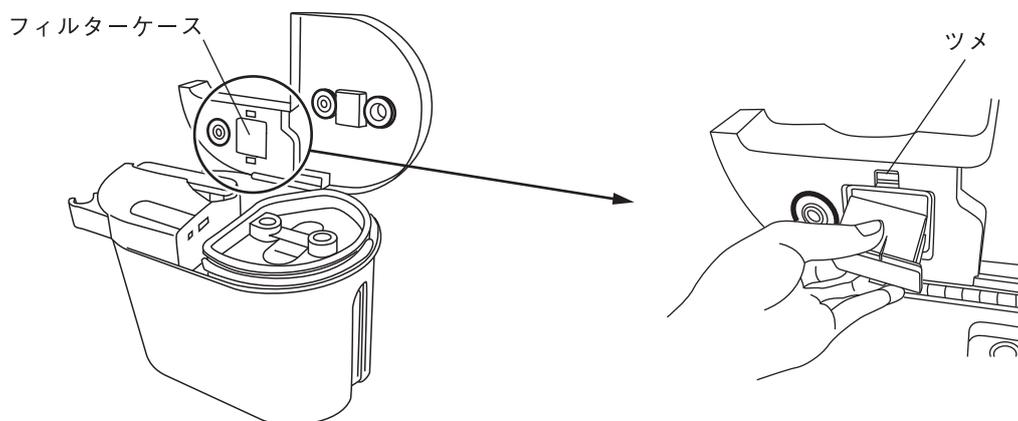
水洗の目安	●フィルターランプ点灯時 ●1週間に1度
交換の目安	●3ヶ月に1回



- 脱臭フィルターを水洗・交換しないまま使用しますと、脱臭効果が得られず、臭いが発生することがあります。
- 長期間脱臭フィルターを水洗または交換しない場合、脱臭フィルターにカビなどが繁殖するおそれがありますので、定期的に脱臭フィルターを水洗または交換してください。

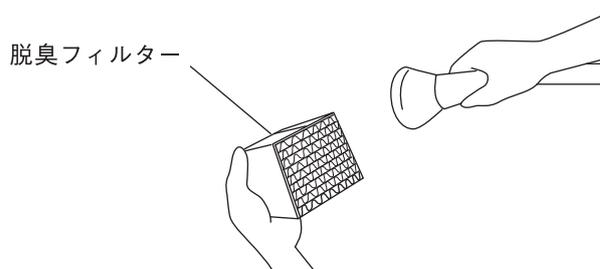
水洗のしかた

①本体ふたを開けて、フィルターケースの両側のツメを外して、フィルターケースを取出してください。



②フィルターケースから脱臭フィルターを取出してください。

③脱臭フィルター表面にほこりが付着している場合は、掃除機でほこりを吸い取ってください。



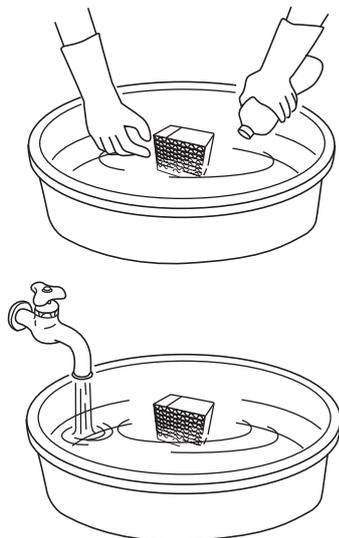
- 掃除機を強く押し当てたり、たわしなどでこすらないでください。破損・変形の原因となります。

8 日常のお手入れ

8.5.脱臭フィルターのお手入れ

水洗のしかた

④液体の台所用合成洗剤（中性・弱アルカリ性）を水道水にうすめ、20～30分間つけ置き洗いをしてください。



- 洗剤容器に表示されている分量でうすめてください。
- 台所用合成洗剤（中性・弱アルカリ性）以外は使用しないでください。脱臭機能の低下の原因となります。

ちゅうい 注意

- もみ洗いしたり、たわしなどでこすったりしないでください。破損・変形の原因となります。
- 洗濯機では洗わないでください。脱臭フィルターが破損・変形するおそれがあります。

⑤きれいな水で洗剤成分を十分に洗い流してください。



- 洗剤成分はしっかり洗い流してください。すすぎが不十分な場合、臭い成分が残ることや脱臭機能の低下につながるおそれがあります。

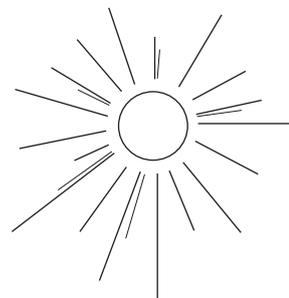
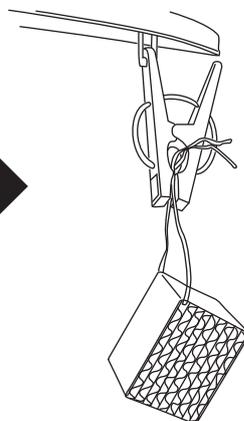
⑥よく振って水気を切り、タオルなどの上に置いてよく水分を取ってください。

ちゅうい 注意

- 脱臭フィルターを絞って水切りしないでください。破損・変形の原因となります。

⑦下記のように、脱臭フィルターの角にひもなどを取付けて、天日干しにして十分乾燥させてください。

ひもなど



※夏場は1日、冬場は2日が目安です。



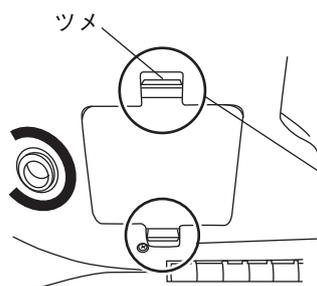
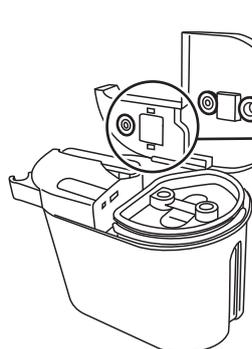
- よく乾いていることを確認してください。よく乾かさないと使用すると、臭い成分が残ることや、脱臭機能がうまく働かない原因となります。

■脱臭フィルターの設置

①脱臭フィルターを2個並べて、フィルターケースに入れてください。

脱臭フィルター

②フィルターケースを本体ふたの所定の位置に戻します。



フィルターケース

ケースの両側のツメ (2ヶ所) を「カチッ」と音がするまで確実に押してください。



●ツメが確実にかかっていることを確認してください。ツメがかかっていない場合、脱臭力・吸引力の低下の原因となります。

交換のしかた

①水洗の繰り返しや長期間の使用により、脱臭機能が低下します。3ヶ月に1回を目安に脱臭フィルターを交換してください。また、交換の目安期間内でも、脱臭機能の低下を感じましたら交換してください。

別売品

脱臭フィルター (2個1組・フィルター交換ラベル入)

購買方法は、パラテクノコールセンター (53ページ参照) までお問い合わせください。

②「水洗のしかた」(44～46ページ)を参照して、脱臭フィルターを交換してください。

③「フィルター交換ラベルの貼付」(16ページ参照)の要領で、新しいフィルター交換ラベルを貼り付けてください。

④交換した脱臭フィルターを破棄するときは、不燃ゴミとして処分してください。

9 長期保管について



- 長期間使用しないときは、採尿器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。お子様のいたずらなどによる予期せぬ事故や不具合により、けがをするおそれがあります。

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けて保管してください。
- 採尿器本体・レシーバーの上にものを載せないでください。変形するおそれがあります。
- 平らに置いてください。(横倒しにしたり、斜めに置かないでください)
- ノズル台を採尿器本体から外して保管してください。
- 洗浄、消毒を行ってから保管してください。

10 困ったときは

10.1.Q&A（よくある質問）

Q（質問）		A（回答）
使用上の Q&A	●旧型の採尿器本体KW-055に男性用レシーバーW65MR・女性用レシーバーW65WRは取付くか？	●取付けられません。
	●ペースメーカーを使用している人が使用できるか？	●ペースメーカーの販売元にご確認ください。なお、スカットクリーンはJIST0601-1-2に準拠した電磁環境適合性の要件を満たしています。
	●自動車内で使用できるか？	●使用できません。スカットクリーンはAC100Vで動作するため自動車のDC出力（シガーライターなど）では使用できません。
	●使用者の服用する薬の影響は？	●尿センサーは、液体の抵抗値によって反応するセンサーを採用しています。使用者の服用する薬により、尿の成分が変化し、尿センサーが反応しないおそれがあります。その場合は吸引スイッチを使用して採尿してください。 ※1
	●男性用（女性用）ホースに、女性用（男性用）レシーバー部を取付け、使用できるか？	●取付けられません。組合せが異なると尿が漏れる原因となりますので、適性な組合せでご使用ください。
お手入れの Q&A	●レシーバーや尿タンクの尿石をとる方法は？	●尿石除去効果のある市販のトイレ用洗剤があります。容器に記載されている使用方法、使用上の注意に従って使用してください。
	●市販の洗剤、消毒剤、消臭剤を使用できるか？	●本取扱説明書の37～43ページに従って、洗浄・消毒を行ってください。

※1:尿センサーが反応しないおそれのある方は、自動採尿機能が働かないため、装着した状態での使用はできません。

10 困ったときは

10.2.故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- 処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにスカットクリーンの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンター（53ページ参照）まで修理をご依頼ください。

症 状	チェック	処 置	参照ページ
●尿を吸い込まない	● コンセントに電気がきていますか？	● コンセントに他の電気器具を付けて確認してください。	—
	● 電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	● 電源プラグが差し込まれていないときは、電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ● 差し込まれているときは、いったん電源プラグを抜き、20～30秒後にもう一度差し込んでください。 ● 電源ランプが点灯していることを確認してください。	18
	● ホースが折れ曲がっていますか？	● 折れ曲がりを直してください。	18・22・29
	● 尿タンクとタンクふたが正しくセットされていますか？	● 正しい位置にセットし直してください。	35
	● 本体ふたが確実に閉まっていますか？	● 「カチッ」と音がするまでふたを確実に閉めてください。	36
	● ノズル台が正しくセットされていますか？	● 「カチッ」と音がするまで押し込んで確実に接続してください。	17
	● 採尿器本体を、レシーバーより高い位置に置いていませんか？	● 採尿器本体を、レシーバーより低い位置に置いてください。	18
	● レシーバーを正しく使っていますか？	● 「6.2.男性用レシーバーの使いかた」または「6.3.女性用レシーバーの使いかた」を参照して、確認してください。	19～25 26～30
	● センサー汚れランプが点灯していませんか？	● 「8.3.各部の洗いかた」の「センサー部／ホース内」の項目を参照して、レシーバーのセンサー部の汚れを落としてください。	15・41
	● 電源ランプが点滅していませんか？	● 吸引スイッチが押され続けていることを確認してください。	14
	● 満タンランプが点灯していませんか？	● 尿タンクがいっぱいになっています。尿を捨ててください。	15・35・36
	● パッキンが外れたり、劣化していませんか？	● 外れている場合は正しくつけ直してください。また劣化している場合は新しいものと交換してください。新しいパッキンについては、パラテクノコールセンター（53ページ参照）までお問い合わせください。	—
	● タンク取っ手が奥側に倒れていませんか？	● タンク取っ手を手前側に倒してください。	36
● 本体ふたの下に異物がはさまっていませんか？	● 異物を取り除いてください。		

症 状	チェック	処 置	参照ページ
● 本体ふたが閉まらない	● タンク取っ手が奥側に倒れていませんか？	● タンク取っ手を手前側に倒してください。	36
	● 本体ふたの下に異物をはさまっていませんか？	● 異物を取り除いてください。	
	● 尿タンクの下に異物をはさまっていませんか？	● 異物を取り除いてください。	
● ブザーが鳴り続ける	● 満タンランプが点灯していませんか？	● 尿タンクがいっぱいになっています。尿を捨ててください。	15・35・36
	● センサー汚れランプが点灯していませんか？	● 「8.3. 各部の洗いかた」の「センサー部／ホース内」の項目を参照して、レシーバーのセンサー部の汚れを落してください。	15・41
		● 尿が出ている状態（溜まっている状態）で電源プラグを差込むと、センサー汚れランプが点灯することがあります。故障ではありません。	—
		● 吸引スイッチでの吸引開始3分後にモーターを自動停止する際、尿センサーが尿を感知しているおそれがあります。センサーの汚れがないか、または尿が常に出続けている方が使用していないかを確認してください。	—
		● 本体とレシーバーの接点部に水滴が溜まっているおそれがあります。乾いたタオルなどで水滴を拭き取ってください。	42
● 電源ランプが点滅していませんか？	● 吸引スイッチが押され続けていることを確認してください。	14	
● 排尿しないのにモーターが作動する ● 数分間モーターが停止しない	● 尿センサーが汚れていませんか？ ● レシーバーのセンサー部や、採尿器本体またはレシーバーの接点部が汚れていませんか？	● 「8.3. 各部の洗いかた」の「ホース」または「採尿器本体」の項目を参照して、レシーバーのセンサー部を洗浄、またはレシーバー・採尿器本体の接点部をアルコールをひたした綿棒などで清拭してください。	41・42
● 尿臭がする	● 脱臭フィルターが入っていますか？	● 脱臭フィルターをセットしてください。	46
	● 尿タンク・レシーバーなどを定期的に洗浄・消毒していますか？	● 尿タンク・レシーバーなどを定期的に洗浄・消毒してください。	37～43
● フィルター汚れランプが点灯している	● 吸引時間の合計が50分を超えていませんか？	● フィルターを水洗または交換し、リセットスイッチを約2秒間押し続けてください。	15

10 困ったときは

10.3. さくいん

【あ行】	ページ	【な行】	ページ
アタッチメント……………	24	尿感知吸引……………	13
受け口部……………	24	尿センサー……………	5・13・14・15・21・28
		尿タンク……………	4・13・15・35・36・37・43
		ノズル台……………	5・17・41
【か行】		【は行】	
仰臥位……………	22・30	排気孔……………	4
空気孔……………	5・20・27	パッキン……………	4・34・42
吸引スイッチ……………	14	ハンドル……………	5・16・30
吸気孔……………	4	ハンドルアダプター……	5・26・30
グリップ……………	5・20・27	ハンドル部品……………	5・16
後傾座位……………	23・29	ひも通し……………	5
小ねじ……………	5・30	表示パネル……………	4・13・18
		ブザー……………	15
【さ行】		フィルターケース…………	4・44・46
採尿器本体……………	4・17・18・42	フィルター汚れランプ…	4・15
座位……………	23・29	フック……………	17
消毒液……………	43	ブラシ入れ……………	4
女性用レシーバー…………	5・26～30	ホース……………	5・41・43
ストッパーボタン…………	5・41	本体取っ手……………	4・37・43
ストッパーレバー…………	4・35・36	本体ふた……………	4・34・35・36・42・43・44・46
接点部……………	4・5・41・42	【ま行】	
洗浄液……………	37	満タンランプ……………	4・15・35
洗浄ブラシ……………	5・41	【ら行】	
センサー汚れランプ……	4・15	リセットスイッチ…………	4・13・15
側臥位……………	22	レシーバー……………	5
【た行】		【英数】	
タイマー吸引……………	13	KW-65H……………	4
脱臭フィルター……………	15・34・44・45・46	KW-65MS ……………	4
タンク取っ手……………	4・35・36	KW-65WS ……………	4
タンクふた……………	4・35・37・43	KW-65MRT、(W65MR)…	5
男性用レシーバー…………	5・19～25	KW-65WRT、(W65WR)…	5
締結ねじ……………	5・20・38		
電源コード……………	4・18		
電源プラグ……………	4・18		
電源ランプ……………	4・18		

10.4.保証とアフターサービス

保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の「10.2.故障かな?と思ったら」(49～50ページ)に従って調べてください。それでも直らないときは、スカットクリーンの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター(53ページ参照)までご連絡ください。

■連絡していただきたい項目

- 品名、品番
- 定格銘板の製造番号(採尿器本体背面に貼付：4ページ「各部の名称とはたらき」参照)
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- お名前、ご住所および電話番号

製造番号
(採尿器本体のみ)

品番

品名

保証書	
品名	品番
保証期間	お買い上げ日
お名前	お名前
ご住所	ご住所
電話番号	電話番号

保証書

品名	品番
保証期間	お買い上げ日
お名前	お名前
ご住所	ご住所
電話番号	電話番号

保証書

品名	品番
保証期間	お買い上げ日
お名前	お名前
ご住所	ご住所
電話番号	電話番号

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間を過ぎているとき

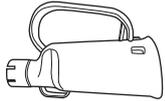
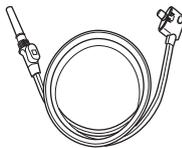
修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

10 困ったときは

10.4.保証とアフターサービス

■消耗部品について

以下に記載の部品は、消耗部品です。使用頻度、取扱いにより消耗した場合は、保証期間中でも有償となります。部品名と品番をお買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください

部品名	品番	部品名	品番
男性用尿器 (レシーバー部) 	3F06847900A	ノブ (締結ねじ) 	3F06848400A
女性用尿器 (レシーバー部) 	3F06852900A	パッキンセット (大×1、小×2) 	3F06955400A
男性用ホース 	3F06955500A	尿タンクパッキン 	3F06845700A
女性用ホース 	3F06955600A	交換用フィルターAS (脱臭フィルター (2個1組) ×1) (フィルター交換ラベル×1)  	3F06983000A
		ブラシ (洗浄ブラシ) 	3K00973200A

部品の最低保有年数

弊社では、このスカットクリーンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

アフターサービスについて

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

受付時間:9:00~17:20(夏季休業・年末年始休業を除く)

【パラテクノ株式会社について】弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

販売店様へのお願い

スカットクリーンを販売されたときは、必ず採尿器本体およびレシーバーの保証書に必要事項（お買い上げ日、販売店名）をご記入のうえ、お渡しく下さい。

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	東京営業部	☎(03) 3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11		☎(011) 271-1181 (代)
仙台支店	〒980-0013	仙台市青葉区花京院2丁目1番65号	花京院プラザ4階	☎(022) 217-7311 (代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号		☎(048) 852-0707 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間1715番地1		☎(042) 795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号		☎(052) 963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号		☎(06) 6443-8791 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号		☎(082) 293-1311 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号		☎(092) 461-1131 (代)

 PARAMOUNT BED